

会長のページ 開業医について	河野 雅行	3
日州医談 新型コロナ禍の渦中で	嶋本 富博	4
新春随想(その2)		6
大森 史彦, 江藤 敏治, 澤田 浩武, 岩切美千代, 横山 晃子, 紀 愛美, 伊藤 康司, 石井 千寸, 丸山 英晴, 飛松 正樹, 中村 究, 田崎 高伸		
就任挨拶 宮崎大学医学部教授就任挨拶	東 美菜子	15
エコー・リレー(558)	長嶺 元久, 郡山 晴喜	17
メディアの目 県民の生命を守る「医療」「健康」報道とは	井上 豊	18
身近なお困りごと相談室		19
宮崎大学医学部だより(内科学講座-消化器内科学分野-)	三池 忠	26
診療メモ 知っておきたい, 新しい心不全治療薬	小岩屋 宏	60
宮大医学部学生のページ 研修医0年目の私たち	亀山 佑理	62

あなたできますか?(令和2年度医師国家試験問題より)		16
宮崎県感染症発生動向		20
各郡市医師会だより		22
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会		28
第121回九州医師会総会・医学会		30
ベストセラー		34
日医インターネットニュースから		36
医師国保組合だより		38
追悼のことば		39
会員の異動・変更報告		40
理事会日誌		42
県医の動き		46
ドクターバンク情報		47
行事予定		53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		55
あとがき		68

お知らせ 宮崎県医師会メーリングリストのご案内		14
カット・イラストの募集		24
医療勤務環境改善支援センター		25
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!		27
国民年金基金のご案内		35
女性医師の皆様へ(マタニティ白衣無料貸出)		41
日州医事へのご意見・ご感想		51
郡市医師会への送付文書		64

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

カムイ岬の冬

2年前の正月休みを北海道で過ごした際、積丹半島のカムイ岬に行きました。夏は大勢の観光客で賑わいますが、冬は岬の先端まで続く遊歩道が閉鎖されていることもあり、誰一人いません。帰る間際に雪が無い始めました。

宮崎市 佐々木 究

会長のページ

開業医について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

我が国において地域医療を支えているのはさまざまな立場の医師です。その中でも開業医は歴史的にも重要な役割を担って、国民皆保険とともに国民の健康維持に大きく貢献してきました。しかし、時代の変遷とともに開業医の社会的立場や社会での受け取りが異なってきています。「町医者」として大病院勤務医よりも低く見る市民もいます。若手医師でも開業希望が少ないそうです。

理由として、医業以外の慣れない人事管理や経営などの苦労が大きい、それまで長年研鑽した手術や検査が制限され、自分の力を発揮できないなどが言われています。私も開業前に先輩から言われました。「開業すれば自分のエネルギーの2/3は運営に費やすことになるよ」と、まさにそのとおりでした。ある時には9割以上を運営で悩んだ時期もありました。

昨今は働き方改革で職員の時間外労働が厳しくなっています。ぎりぎりの職員により運営しているものが、一人でも休めば直ちに全員に波及します。週休、年休は確実に取らせる必要があるし、産休・育休や疾病など予定できない場合もあります。職員の専門性が進んでおり、ある部門が不足しても他部門から回すことはできません。雇用時に記載のない業務は不可です。時間外急患に対応することなどとても無理です。有床診療所では夜勤者・当直者の確保に苦慮しています。何より絶対数が不足しています。

経済的にも以前ほど楽ではなく、診療報酬改定ごとに厳しくなっています。増加しつつあるさまざまなクレームにも一人で対処しなければなりません。過当競争もあります。将来の展望の厳しい中で、更に承継問題も深刻です。ある開業医は、「開業の実態が大変なので、子どもに跡を継がせようとは思わない」更には「自分も廃業のタイミングを計っている」とも述べています。

地域医療構想で病床削減は今後も進むでしょう。有床診療所も存続が困難になってきていますし、以前は届け出制であった開業は、すでに地域医療推進協議会で検討されたうえでの許可制になりつつあります。更に、外来機能の在り方が見直されています。国は在宅医療に力を入れており、科によってはますます厳しいものとなるでしょう。これらの理由により開業希望が減少しているものと思われます。

この奔流の元で会員を守るために日医は奮闘していますが、なかなか難しいようです。過疎化により学校の統廃合が進んでいるように、患者さんの動態によっては医療機関の統廃合もあり得ます。しかし、我が国の地域医療からすれば、開業医の衰退は医療提供体制を根本から再検討せざるを得ません。なんとか現状を維持したいものです。

(令和4年1月19日)

日州医談



新型コロナウイルス禍の渦中で

宮崎県医師会 理事 しまもととみひろ
嶋 本 富 博

新型コロナウイルス感染症では、宮崎県は診療所から大学病院まで医療機関の総力戦と行政のコントロールの下、第5波までを乗り切りました。薬剤の選択肢も増え、ワクチンも普及し、予防薬、更には治療薬も認可されつつあり、油断は許されないものの徐々に落ち着きを取り戻している状況と思われます。

県立宮崎病院においても中等症以上の受け入れ病院としてスタートしました。ICUの構造的な問題、救急患者の受け入れを継続することより、人工呼吸器になった場合も感染症病棟での治療として当初対処する方針としましたが、その後体制を整備し、ICUでのハイブリッド運用を行いました。しかし、ICUの病棟が狭隘でハイブリッド運用時は手術救急対応に制限をせざるを得ない状況となりました。また高齢者施設のクラスターが散発的に発生した際には、現地でDMAT派遣での対処もしていただきましたが、当院としても患者さんを受け入れるために病床を拡大しました。一部は認知症が高度で一般病棟の管理が困難な場合、精神科病棟を閉鎖しての対応を行いました。その他重度心身障害者の感染、小児とそのご家族の感染もあり小児病棟のハイブリッド運用で対応してきま

した。以上のような対応も病棟を閉鎖したために起こる救急の対応、転院の対応に対しては、行政医療の一丸となった協力体制があつて可能となり感謝しております。

ワクチンが普及してきた後には、高齢者の感染は減少したものの働き盛りの方の入院が増え、社会的活動の高い人が急に隔離生活を強いられ、興奮状態となるような事例も散見されました。現場の医療従事者も緊張が続く中、頑張つて診療を続けてもらったことにはあらためて感謝するところです。重傷者をICUで収容する宮崎大学、各地の基幹となる病院だけでなく多くの病院でのコロナ患者の収容、宿泊自宅療養の患者さんのフォロー、ワクチンの接種、抗体カクテルの投与、そして毎日の患者さんの把握移送に尽力した行政、消防の協力があつて医療崩壊という事態を招かずに乗り越えられたと思います。宮崎県の他の医療機関でも同様だと思います。誰もが初の体験、未知のものに対する恐怖を抱きながら知見を集積し、徐々に対処にも落ち着いている状況だと思います。

さて県立宮崎病院のことについても紹介させていただきます。昨年、創立100周年を迎えました。戦後の復興を経て医師数だけでも170名を

超え、病床数も490床の総合病院として発展してきたのは、県民の期待に応えてきた先人、支援していただいた医師会・大学の先生のおかげと感謝しております。平成28年の再整備に伴う基本設計完了より建設を経て、令和4年1月11日無事に開院の運びとなりました。前回の病院では病床数が650床で開院しましたが、新病院では490床となります。病診病連携により医療資源を急性期に特化し集中的に投下するということより病床数を設定しました。地域医療支援病院，地域がん診療拠点病院，第一種感染症指定医療機関，救命救急センター等の施設要件を有しております。新病院ではそれぞれの要件により適合するように施設の整備，組織の整備を行ったつもりです。具体的にはヘリポートの新設とICUの増床，救命救急センターの増床およびセンター外来の同一フロアでの一体的運営としました。ヘリポート用のエレベーターは手術室・ICU，産科病棟，救命救急センターと直通としております。

手術室はこれまで7室でしたが，紹介患者さんの手術を少しでも待たせないように10室（実働は9室）に拡張しました。また県内2台目となるDa Vinci Xiも装備して稼働の準備をしているところです。新型コロナウイルスの対応については専用エレベーターの設置，それと連結した形での救命救急センターの陰圧室，ICUの陰圧室，感染症病棟を配置装備することで一般診療部分を犠牲にすることなく移動収容が可能となりました。病室は1フロアに4病棟を配置し2病棟毎に共用エリアとして医療資源の有効利用を図ることとしました。そして災害拠点病院の

指定を受けておりますが，1階部分の嵩上げによる洪水への備え，免震構造となっています。施設は整いました。今後は地域とともに歩み良質で高度な医療を県民に提供するという理念を実現するための組織，ヒト作りを行っていく予定です。外来では紹介患者中心のFAX予約を継続し，適切な時期に適切な時間に受診できるようにしていくことを努めていきたいと思えます。また入院を予定した場合は，患者支援センターを中心として外来から入院まで，そして連携が必要な患者さんの場合は，入院から転院まで継ぎ目のない支援を提供していく所存です。救命救急センターは，現在少しずつですが人員の拡充を図り，院内の専科の後方支援を含め早く断らない救急を具体化するよう努めているところです。停電への備えとしても送電線は2系統よりの供給を受け，非常用電源も容量をアップしています。

まだまだご紹介する部分はありますが，これから使う人の習熟をめざし，安心安全な医療を果たすべくソフトの充実を図り医師会の先生方，県民の期待に応えられるようにしたいと思います。よろしく申し上げます。



新病院外観

新春随想

その2

新春随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

原稿執筆

高鍋町 大森内科医院 おおもりふみひこ
大 森 史 彦

この原稿依頼を受けるといつも思い浮かべるのは須賀敦子さんの文章だ。好きな作家はと問われても真っ先に須賀さんの名前を挙げる。須賀さんは若くしてカトリックの洗礼を受け、長いイタリア生活の後帰国し上智大学で教鞭をとった。信仰とヨーロッパでの生活が作品に強い影響を与えている。

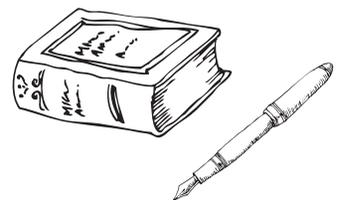
作家としてのデビューは1990年だが、それ以前にもイタリアや日本の文学作品を数多く翻訳し紹介していた。満を持して発表されたデビュー作、「ミラノ 霧の風景」は女流文学賞、講談社エッセイ賞を受賞して、1998年に69歳で亡くなるまでわずか8年の間に多くの自作や翻訳を出版している。

日本語としては比較的長い文章だが、選び抜かれた単語が真珠のような煌めきをもち、読み進めると不思議と心が落ち着く言葉で綴られる。その文章からはヨーロッパの街並み、風景が見えてくる。それも教会やお城ではなく、市民が暮らす街並みである。作品の題材がイタリアでの仲間や夫を主題としているからか、それとも私自身がヨーロッパの文化、特に音楽に強い興味を持っているからではないだろうか。須賀さんの作品を通じて全く知らなかったイタリ

アの詩人や文学者の作品を知ることができたのも大きな収穫だった。まさに知の巨人といえるお一人だと思う。

評論家の若松英輔氏は、著書「霧の彼方 須賀敦子」の中で須賀さんの作品の本質を霊性と書かれているが、私にそこまではわからない。しかし、時々須賀さんの著書を取り出してはつらつらと読み、ああ、こんな文章が書けるようになるのはいつの日かと嘆息する日々だ。

追記：以前書いた田部井淳子さんのチソミソですが、放送は1997年（平成9年）11月16日（日）のNHK FMでした。当時のメモ書きが出てきました。



自分たちが光となりましょう

串間市 串間市民病院 江藤敏治

令和2年4月大学を離れ、生まれ故郷の串間市民病院長として久しぶりに第一線の現場へ復帰した。黒木和男前院長（現名誉院長）に私が呼ばれた背景には、それまで病院を支えてくれていた大学医局からの派遣打ち切りが来春に決定していた絶望的な状況があった。就任後すぐにでも医師探しに奔走したかったが、新型コロナの影響で身動きできず本当に苦しかった。

困り果て以前からの知り合いで医師幹旋業の方に『何とか人をご紹介いただけないか』と連絡した。正直に『給料はいくらでも頑張りますので』と伝えたところ『江藤先生、今お金をいくら積んでも人が来てくれる時代ではありません。先生がどういう医療を展開したいか、どういう病院にしたいのか、どういう将来を描こうとしているのか、その思いをぶつける以外ありません。そういう熱い思いを江藤先生はお持ちです。自分を信じて真っすぐぶつかってみてください。道は必ず開けます。頑張ってください。期待しています。』とおっしゃられ、励ましていただいた。80歳を優に超えた御仁の言葉に私は『はっ』とさせられた。原点を指し示された気がした。それをきっかけに就任後3か月で6キロほど減少していた体重が戻らなくてもいいのに少しずつ戻ってきた。（まったく）

思いは必ず伝わると、20年以上も前に一緒に働いていたいわゆるコベンにぜひ手伝ってこないかとお願ひした。汗水たらしてともに働いた同僚にも熱く声をかけた。自分の想いをまっすぐ伝え、これからの医師の働き方改革を説明し、各々の人生を応援できる仲間を求めた。そ

の結果、絶望的な将来が見え隠れする中において、先のコベンの先生（といっても人としても医師としても尊敬できる素晴らしい第一人者）が『今まで支えてくれていた先生方がいなくなることによってスタッフや市民みなが不安に思っているはずです。自分たちが光となりましょう』と言ってくれた。その言葉に思わず涙がこぼれた。同僚からは『先生の話されたことは夢みただけで、なんか江藤先生が口にするのと実現できそうです。一緒に働かせてください。』と本当にありがたい言葉をもらい、県との協同も実現し、仲間が1人増え2人増え、いっきに構想が加速していった。この1年間であらたに6人の先生が志を同じくして集まってきてくれた。

私が心底嬉しいのは集まってくれた仲間がこんなにも忙しい中『本当にワクワクしますね』と笑顔で言ってくれていることに尽きる。その笑顔を医師はもとより全医療スタッフと分かち合い、市民を交えた安心、安全を提供できる『医療者がここから育つ、地域の夢溢れる教育研修病院』にしたいと心から願っている。いや、したいのではなく必ずする。言葉は言霊である。自分にそう言い聞かせながら日々診療に、仲間との夢の語り合いに熱い時間を過ごさせてもらっている。本当に感謝だ。ここからが、夢を現実にするための正念場だと兜の緒を締め直す毎日である。

高校時代の仲間

宮崎市 宮崎大学医学部看護学科基礎看護学領域

さわ だ ひろ たけ
澤 田 浩 武

50歳を過ぎて、子どもたちは手がかからなくなり、親の介護もまだ本格的ではないようで、高校時代の同級生と一緒に過ごす機会が増えました。ちなみに中高男子校なので男だけです。私は京都から宮崎に来たのですが、学生時代の仲間も京都に残っている者はわずかで、仙台、東京、名古屋などあちこちで医師として勤務しています。10月は仲間が宮崎に集まり、金曜日午後から薄暮プレー、土曜日1.5R、日曜日1Rして帰ります。在宅診療をしている仲間は土曜日の夜入り、日曜プレーで帰りますが、毎晩、日ノ出ホルモン→ゴルフバーのパターンでゴルフ合宿状態です。多い時は3組で回ることもありました。1月は仲間が北海道にスキーに出かけていましたが、年々体がキツくなり、最近、「行く？どうする？」みたいになってきました。以前は金曜日夜に札幌入り、土曜日朝から滑りまくり、夜は原田知世の「私をスキーに連れてって」をDVDで流し、サッポロビールを飲み、ホテルに閉じこもってカップラーメンを食べ、ひたすらカードゲーム。宮崎も北海道も観光やグルメはなし。気合いを入れて遊び、週明けは通常勤務です。また、学術集会などで近くに行く時は、一緒に飲み、ゴルフをして帰っていました。しかし、昨年からのCovid-19により、お互いに県外移動はできず、2年連続で宮崎、北海道ツアーは中止となりました。2022年こそはまた仲間が集まってゴルフと酒を楽しめればと思っていますが、現時点ではオミクロンが心配です。ちなみに2019年の新春

随想で「新春目標は、ゴルフスコア90切り！」と記していましたが、いまなお、スコアはほとんど100台。一向に上手くなる気配はありません。

ころからからだへ

宮崎市 いわきりこころのクリニック いわ きり みちよ
岩 切 美千代

私は小さいころから歩き方が変で、よく転ぶ子でした。

何もないところでも転んで膝小僧は傷だらけ。体育は苦手で、先輩医師からテニスを習っていた時に「何でそんなに遅いの？」と言われていました。

その後すぐ、左半月板損傷し、30代で変形性膝関節症になり階段の上り下りにも不自由し広い交差点も渡りきる自信がない状態に。水中ウォーク・自転車通勤などなどでなんとか動けるようになり（身体）障がいとまではいかないレベルで不自由しながら生活。

11年前にここ宮崎で開業し、スポーツジムでトレーナーさんにストレッチしてもらっていましたが3代目のトレーナーさんが優秀で、元々足首が硬く足首で吸収される衝撃がそのまま膝に行き膝の故障が来ていることを教えてもらいました。足首を含めた全身のケアのおかげで長時間歩けたり机の下に落ちたものを拾うのが困難に感じたりだった今までの生活は思いのほか大変だったことを実感。

学生時代から骨筋よりもそれを支配している神経が偉い(?)と思い、神経生理学に興味があり大学院で学位を取得。その後精神科医として

の道を歩むことになった私ですが、動けることがメンタルにも影響するのだと身をもって体験し、障がいレベルではない人たちがよりよく動けるためのサロンを作りたいなと考えるようになりました。

温めて 肩が凝る、足が痛いなどの苦痛を楽にして 動きやすくして 正しい動きをおぼえるようにして 自分でケアもできるように。

2022年還暦を迎えますが、これからはメンタルだけではなく身体的にも寄り添えるようになっていきたいです。こころとからだが自由に動けて自分の新たな価値を見いだせるように。

夢が叶った暁には、整形外科をはじめとした身体科の先生からのご指導をいただけると幸甚です。

食生活の変化を楽しむ

宮崎市 ひなた赤ちゃんこどもクリニック よこ やま あき こ 横 山 晃 子

数年前から小麦を控えている。

テニスのノバク・ジョコビッチ選手の著書を読み、ほぼ興味本位で2週間のグルテンフリーを試してみたのがきっかけだ。本の主旨は、大人になってグルテン不耐症がわかり除去したことで体調が改善した、自分の体をよく知ろうというものだったと思う。更にグルテンフリーで5kgダイエットしたとも書いてあり、当初はそこに注目していた。

残念ながらダイエットは成功しなかったが、長年の悩みのアトピー性皮膚炎がかなり改善し本当に嬉しかった。その後、グルテンフリーま

でせず適量の小麦は食べても大丈夫とわかったものの、痒みのない生活が快適なので食べるのを控えている。

小麦というと、うどんやパスタなどの麺類、お好み焼きやたこ焼き、パン、ケーキやクッキーなどいわゆる美味しく楽しい食べ物が多い。これを控えると味気ない食生活になるか…というと、そうでもない。スーパーの陳列棚・オンライン通販などでいろいろと手に入る。

そば粉100%の十割そばは、ほとんどのスーパーで乾麺を見かける。小麦粉入りの食感と比べてざらっとしているが、それが風味になっていてそば湯まで美味しくいただいている。つなぎの小麦粉を使用しない乾麺の開発は大変だったのではないかと食べるたびに思う。

パスタはしばらく食べていなかったが、1年前に豆のパスタを貰ったのを機に、米粉、玄米などが原材料の麺を見つけては食べ比べしている。また、フォーなどエスニックの米粉麺料理は外食のものと思っていたが、コロナ禍の影響もあり簡単に作るキットを使って自宅でも食べるようになった。

小麦を食べているときは全く気づいていなかったが、スーパーを見て回るといろいろと並んでいる。テレビをぼーっと見ている時も思いがけず情報を得ることもある。

これまで気づかず通り過ぎていた食品や調理法を知り味わうことが最近の楽しみになっている。



ご職業は？

宮崎市 宮崎市郡医師会病院 紀 ^{きの} 愛 ^え 美 ^み

「産婦人科医をやっています」と話すと大抵の場合、「大変ですね」と返ってくる。

「好きでやってます」という気持ちでいるが、「大変」の意味を一応そのたびに考えている自分がある。

確かに、お産は時間を問わない。「赤ちゃんは無事に生まれてくるのが当然だし、お産は病気でない」という古くからの世間の見解のせいで、訴訟に見舞われやすいというデータもある。緊張感にさらされる場面は多く、分娩進行中の胎児の徐脈の音は、永遠にも感じるほど長いし、産声を聞いた時の医療スタッフの安堵は、産んだお母さんのそれを凌駕していると言っても過言ではない。血が止まらない場面に遭遇するし、止まらない出血を見ながら次の一手をと必死に思考を巡らせながら、力一杯子宮をマッサージして手がつかうこともある。

ああ、やっぱり「大変」なのかも。「大変」なことしか思いつかない。…なんてことは、ない。お産は、当人にとって大仕事だ。辛い陣痛に30時間も苦しむことだってある。ただ、何といってもお産は素晴らしい。昨日までこの世に存在していなかった新しい家族が増える瞬間なのだ。お母さんと赤ちゃんは、長く苦しい陣痛を、家族や助産師、看護師、そして我々とチームになって乗り越える。人生の中でもとびきり輝かしいその一場面に立ち会える喜びは、ぜひとも「大変ですね」と言った人たちに知ってほしいと思う。

私は現在、宮崎市郡医師会病院で働いている。宮崎市の産婦人科を取り巻く環境は徐々に

変化し、分娩を取り扱う施設の減少のため、当院の分娩件数は着々と増えている現状がある。

1日1件増えるだけで現場の負担は大きい。輝かしいお産も、数が増えれば「大変」になることは否めない。すべてのお産が、うまくいきますように。そしてお産の素晴らしさを共有できる産婦人科医や助産師の仲間が増えますように。「大変ですね」が「素敵なお仕事ですね」に変わる日を願ってやまない。

小旅行

日向市 和田病院 伊 ^い 藤 ^{とう} 康 ^{こう} 司 ^じ

2021年は新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、全国的に県をまたぐ移動が制限されました。家にこもるのもストレスがたまる一方でしたので地元日向でのお出かけを考えました。5年前に日向市に転居してきましたが、これまであまり近場の名所には訪れておらず、よい機会だったのかもしれません。

観光情報を調べてみますと、宮崎県北東部にある日向市は、日豊海岸の長い海岸線、冠岳から尾鈴山麓に連なる壮大な山々など、美しい景観を持つ自然に恵まれた土地であり、また、古い港町などの文化財も残されているとの説明でした。中でも目についたのはやはり「日向岬・馬ヶ背・クルスの海」と海沿いの名所であり、手始めに行ってみることにしました。

自宅から車で10分ほど走れば大御神社と伊勢ヶ浜につきます。ここから日向岬への山道が始まります。まるで森の中を進んでいるような上

り坂が終わると景色が開け、まもなくクルスの海と呼ばれる海岸を見渡せる駐車場へとたどり着きます。眼下には十文字に海の水が区切られているような不思議な光景が見えます。なんでもここを訪れると願いが叶うと言われているそうでわたしもたくさんお願いをしてきました。

再度アップダウンとカーブの道を走ることしばらく馬ヶ背の駐車場に到着です。ここからは徒歩で日向岬の先端馬ヶ背を目指します。きれいに整備されていますが、上り下りが結構あり、普段運動不足の私は息が切れるほどでした。遊歩道を進むと右手に馬ヶ背の断崖絶壁と言われるまさに絶壁が見えてきました。1,500万年前の火山活動によってできた柱状節理のことです。かなりの迫力で圧倒されました。更に歩みをすすめると目的地の日向岬、馬ヶ背に到着です。真っ青な大海原に突き出た岬からの眺望は絶景の一言です。しばらく自然の雄大さにひたることができました。

自宅から30分以内での小旅行とは思えない経験ができました。これからも日向の魅力を探していくつもりです。

私の趣味

延岡市 石井皮膚科 いし い ゆき ちか 石 井 千 寸

趣味のない男ですが、最近私の趣味はスキーになりました。趣味がスキーになり3年目になります。次男が五ヶ瀬中に入りスキー部に所属したのがきっかけです。元々私は大阪育ちのため小学生から高校生まで冬休み、春休みはスキ

ーに行っていました。ハチ北高原、白馬、六甲山人工スキー場などで練習して、それなりに滑れるようになっていました。しかし、宮崎大学に入学してからは五ヶ瀬スキー場も含め何回か行ったきり、行かなくなっていました。

昨シーズンはコロナ禍でありましたが、自粛制限がない期間、五ヶ瀬スキー場、九重スキー場に毎週末、予定がない日は必ず通って練習しました。また、夏は国富町の法華嶽グラススキー場でシーズンオフもグラススキーを練習しました。

次男の五ヶ瀬中スキー部の冬の部活動は学校から部として、毎週土日祝日、スキー場のスタッフバスに同乗させてもらって行っています。夏はグラススキー場で自主練習ですが、それは保護者での送迎のため、自分もはまって一緒に練習するようになりました。一緒に練習といっても別コースで別メニューです。次男は優秀なコーチの指導の下でめきめき上達して、中体連、国体出場を目指すレーサーになりましたが、自分は中々上達しません。子どものころのスキーの技術もいわゆるレジャースキーレベルで、今はそれにわずかに毛が生えた程度です。

ケガしないかと言われますが、親指を左右それぞれそれなりの突き指、捻挫をしました。1か月ほどテーピング固定なしでは仕事ができないこともありました。大学時代のサッカーを今から頑張れと言われても体力がなく無理ですが、次男の部活の保護者活動として、試合の送迎に同行して自分も滑って楽しんでます。今シーズンも五ヶ瀬スキー場のシーズン券を買いました。北海道のスキー場にも休みを作って行ってきたいと思います。仕事も勉強も頑張りますのでこれからもよろしくお願いします。

還暦に当り私のカルテを振り返って

宮崎市 阿波岐ヶ原病院 ^{まる}丸 ^{やま}山 ^{ひで}英 ^{はる}晴

令和4年(2022年)に還暦を迎えるということ
で原稿依頼があった。このところ新型コロナ
ウイルスとインフルエンザのワクチン接種に
追われて、還暦ということなどすっかり忘れて
いた。そうか、60年生きてきたのか!幼少時は
小児喘息や周期性嘔吐症(自家中毒)で、伯母
の勤務していた県立宮崎病院に入退院を繰り返
し常連客のひとりであった。中学・高校時代は
血管運動性鼻炎(寒暖差アレルギー)に悩まされ
た。急な気温変化で生じ、特に冬や冷房が大
敵であった。抗アレルギー剤が効くのだが、当
時の薬は凄い眠気と倦怠感の副作用があり、試
験前は飲むのに大変な勇気が要った。大学時代
はインフルエンザでひどい目に遭った。専門課
程基礎の時に細菌学講座(当時は細菌学でウイ
ルスも習った)でインフルエンザウイルスには
抗生物質は効かず特効薬はないと習い、その直
後にインフルエンザに罹患したので教えを忠実
に守り自分の抵抗力で治すしかないんだからと
何も服用せずにいたところ、40°Cの高熱、咳痰
は引っ切りなし、息も苦しい、食事は摂れず、
独り下宿で大変だった。今では抗インフルエン
ザ剤もあるが、そうでなくても対症療法薬位は
内服した方が少しでも楽なのだろうと経験から
思っている。幸いその後インフルエンザには罹
っていない。医師になってからは過労(講演会
後の遅くまでの飲み会?)による一過性不整脈
や鼠径ヘルニア嵌頓を経験した。ヘルニアは腹
腔鏡で手術していただき、術後3日目には少し
ずつ診察再開でき、医学の進歩を身をもって感
じた。最近では老眼でワクチン問診票を見るのも

辛くなってきたが、微力ながら新型コロナウイ
ルス沈静化のためにと奮闘中である。また一方
で高齢者の話し相手としても耳を傾け毎日を送
っている。

生を受けて60年、医師になって36年、ここ
で一旦気分一新し初心に戻り、これまでの自分
の経験も活かしながらまた医学・医療と付き合
っていかうと誓った。

犬が苦手でしたが、犬を飼っています

日南市 にちなんファミリークリニック ^{とび}飛 ^{まつ}松 ^{まさ}正 ^き樹

2021年3月、我が家に犬が来ました。ミニ
チュア・シュナウザーの子犬です。犬好きの妻
は、以前から犬を飼いたいと何度も私に訴えて
いました。ところが、私は子どものころから犬
が苦手でした。道端で犬に気づくと、距離をと
ってやりすごしていました。犬が苦手という
と、噛まれたり、何か嫌な思い出があるのです
かと聞かれるのですが、今まで噛まれたことも
ないし、とてもひどいことをされたことはない
と思います。ただ、私の場合には、犬を見ると
手のあたりがもぞもぞとする感覚があり、“犬
→噛まれる”というイメージがありました。

妻に押されたとはいえ、なぜ私が犬を飼う気
になったかという。昨年、昔のノートを見返
していたときに10年前に書いた人生で本当にや
りたいことリスト100というもののできました。
その96番目に「犬好きになる」と書いてあ
るではないですか。怖がっている自分を変えた
いのか、怖いけど、本当は好きになりたいのか

も、と犬を飼うことを決心しました。

さて、わが家に犬が来たとき、かわいいと思いつつも触ろうとすると噛まれるのではと手をひっこめる。恐る恐ると餌を与える。ほんの小さな子犬だとういうのにそんな感じでした。ところが、餌をあげる、トイレのしつけ、散歩につれていく、など毎日たくさんやることがあります。私の役割は朝の散歩。はじめのうちは散歩にでも足をふんばって歩こうとせず、どうして散歩しようとしなくていいのかと悩む。リードの持ち方を工夫したり、餌で誘ったり、ほめたりしてようやくスムーズに散歩ができる。そうこうしているうちに、いつの間にか恐怖心はなくなっていることに気づきました。

犬を飼ってよかったこと。毎朝の散歩ということで運動ができます。朝早く起きるので夜もぐっすり眠れるようになります。家族の中で会話の話題が増えます。仕事に行くときは、いつも窓際で見送ってくれます。まだ1年、これから長い付き合いとなりますが、新しい家族との生活をこれからは楽しみたいと思います。

麻雀考

宮崎市 中村クリニック なか むら 中 村 きわめ 究

宮崎県医師会の麻雀大会が開催されなくなつて約2年。かねてから麻雀人口の減少をひしひしと感じ、参加メンバーも少なくなってきたところに、新型コロナのパンデミックのあおりでテーブルゲームはすべからく中止の憂き目にあつた。囲碁や将棋はネットでの対戦が可能であ

るが、麻雀はそれが難しい。なぜか。麻雀は相手の手配や山（積まれている麻雀牌）は伏せられており、手配は自分以外の者には見えず、山は皆に見えない。配牌や順番に持ってくる牌が何であるかは運任せなので、対戦するメンバーの手牌の良し悪しは相手の表情や身構えから推察することになる。つまりリアルに目の前に対戦相手がいなくて戦略上の情報が極端に少なくなるのだ。この卓外の情報は意外と重要である。麻雀のプロは目線を手牌2割、人8割で見られるらしい。聴牌（当たり牌が出るとあがる状態）になると、手牌から急に他者の捨て牌に視線を送る人は他の人に悟られやすい。なかなかあがれないのが続いて険しい顔だった人が急に目を輝かせて自分の手配を眺めれば、これもそうだと分かってしまう。ポーカーフェイスならぬ麻雀フェイスが必要だ。また麻雀は世代を超えて楽しめる少なくなった社交の場でもあるため、久しぶりに顔を見、お互いの達者を確認し雑談することも大きな醍醐味である。更に麻雀好きにとっては配牌を取り並べ一局の運命を占う瞬間、牌の絵柄の凹凸を親指で確かめる盲牌すらも楽しみになる。学生時代は今思うと貴重な若い脳を勉学でなく遊びに費やした悪魔の遊戯であったが、この世代になると卓を囲んでの独特の緊張感と開放感を感じられる麻雀は、最高の息抜きであったことに気付く。卓を囲んでのメンバーとの再会を待ち望んでいる。



俳句

風邪の子

宮崎市 田崎皮膚科医院

田崎詩門 (高伸)

ていねいに余生を生きむ初日出づ
 チューリップおとぎの国にゐる心地
 昭和の日父の残せし聴診器
 ふる里のありて親子の虫狩
 この患者にも自分史が終戦日
 今朝釣りし光る鮎さげ友来る
 夏の終り渚にぼつと木のボート
 柚子風呂やもらひし数をみな浮かせ
 名月や手のひら程の雲流る
 風邪の子を母に託して女医勤務

〈所属〉青嶺

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書、研修会の案内など）

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し、事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課
 TEL 0985-22-5118

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 あずま 東 みなこ 美菜子

宮崎県医師会の皆様におかれましては、ますます清栄のこととお慶び申し上げます。

2021年8月に宮崎大学医学部病態解析医学講座放射線医学分野の教授職を拝命いたしました。これもひとえに皆様の格別なるご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

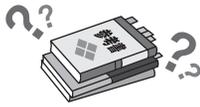
私は、2008年に鹿児島大学医学部を卒業し、熊本赤十字病院での初期臨床研修を経て、2010年より熊本赤十字病院放射線科で、2012年より熊本大学医学部画像診断・治療科で研鑽を積み、熊本大学大学院では神経放射線領域を中心に研究を行いました。2016年に宮崎大学放射線科教室に入局し、宮崎県内の多くの先生方のご指導のもと、診療と研究の経験を積ませていただきました。ご指導をくださった先生方へこの場をお借りし深くお礼申し上げます。

当教室は、大学や地域に貢献できる放射線科を目標に、放射線科領域のジェネラリスト・スペシャリストの育成、各診療科や地域の医療機関のニーズに応じた放射線診療の提供に励んでおります。南北に広い面積を有する宮崎県は、医療資源の不足や偏在による地域格差が重要課題であり、特に、人材確保と教育に重点を置き、地域への安定した人材派遣と基幹病院の機能強化を目指しています。現在、放射線科に興味を持つ医学生や初期臨床研修が増えるよう実践的な学生実習・臨床研修のプログラムを作成して医局全体で教育に取り組み、当科の修練医

に対しては、医師としての心構えはもちろんのこと、放射線医学全般の幅広い知識と技術を習得できる教育を行い、頼れる放射線診断・治療医になるよう育成中です。また、今後は、ICT・AIを活用した大学・地域のネットワークシステム構築による地域の診療支援を推進したいと思います。

放射線科は、AIをはじめとする最新の技術を用いた研究が可能な魅力ある分野であり、地方からでも最先端の研究の成果を世界に発信できます。当教室は、企業と共同でCTによる肋骨骨折自動検出AIの開発を行い、本年度、薬事承認・商品化に至りました。また、近年、世界的に定量的イメージングの使用が推進され、MRIにおいては、高速撮影技術の発展による定量的MRIの開発が著しく進んでおりますが、当教室では、定量的磁化率マッピングやSynthetic MRIなどの定量的MRIを用いた最先端の研究を行い、成果をあげています。今後も、若手医師を中心とした研究者の育成やAIを含む最先端の画像研究に励み、研究の成果をあげていきたいと思ひます。また、大学内の各教室や県内の関連施設との連携が取りやすい当大学の長所を生かし、基礎・臨床の教室との共同研究や地域全体でのビッグデータを活用した質の高い臨床研究を推進したいと思ひます。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。



あなたできますか？

—令和2年度 医師国家試験問題より—

(解答は45ページ)

1. 切除不能の悪性黒色腫に使用される抗体薬の標的抗原はどれか。

 - IL-17
 - EGF受容体
 - IL-6受容体
 - PD 〈programmed cell death〉 -1
 - VEGF 〈vascular endothelial growth factor〉
2. 我が国における高安動脈炎について正しいのはどれか。

 - 中年男性に多い。
 - 喫煙との関連性が高い。
 - 水晶体偏位を合併しやすい。
 - 浅側頭動脈の炎症を合併しやすい。
 - 大動脈およびその分枝に病変をきたしやすい。
3. セカンドオピニオンについて正しいのはどれか。

 - 患者の権利に基づく。
 - 保険診療内で行われる。
 - 悪性腫瘍だけが対象になる。
 - 主治医の変更が目的である。
 - 受持ち患者からの依頼を拒否できる。
4. 疾患と症状の組合せで**可能性が低い**のはどれか。

 - 小脳梗塞 ————— 同名半盲
 - 聴神経腫瘍 ————— 語音明瞭度低下
 - 突発性難聴 ————— 耳鳴
 - パニック障害 ————— 動悸
 - 良性発作性頭位めまい症
————— 寝返り時のめまい
5. 肝臓の代謝で正しいのはどれか。

 - アラニンは糖新生に利用される。
 - 胆汁酸は中性脂肪から合成される。
 - 非代償性肝硬変では芳香族アミノ酸が低下する。
 - アンモニアはTCAサイクルで尿素に変換される。
 - 非抱合型ビリルビンはグルクロン酸抱合を受け脂溶性になる。
6. 78歳の女性。左膝関節痛を主訴に来院した。2日前に誘因なく左膝関節痛が出現し、次第に増悪してきたため受診した。膝関節に腫脹を認め、発赤、熱感を伴っている。関節穿刺で、黄色のやや混濁した関節液を認めた。
可能性が高い疾患はどれか。2つ選べ。

 - 偽痛風
 - 半月板断裂
 - 化膿性関節炎
 - 特発性膝骨壊死
 - 変形性膝関節症
7. 急性膿胸の原因にならないのはどれか。

 - 肺炎
 - 胸部外傷
 - 食道穿孔
 - 肺線維症
 - 降下性壊死性縦隔炎
8. 腰椎穿刺について正しいのはどれか。

 - 脳ヘルニアの患者が適応である。
 - Jacoby線より上の腰椎間腔を穿刺する。
 - 脳脊髄液をシリンジで吸引して採取する。
 - 細い穿刺針の方が穿刺後頭痛のリスクが高い。
 - 側臥位で両膝を両手で抱え首を前屈した体位をとらせる。
9. 各病態で使用する医薬品と投与経路の組合せで正しいのはどれか。

 - アナフィラキシーショックにおけるアドレナリン ————— 筋肉注射
 - 下腿挫創における破傷風トキソイド
————— 静脈内注射
 - 高血圧緊急症におけるカルシウム拮抗薬
————— 舌下投与
 - 糖尿病性ケトアシドーシスにおけるインスリン ————— 皮下注射
 - 熱性けいれんにおけるジアゼパム
————— 皮下注射
10. 即時型食物アレルギーの検査として誤っているのはどれか。

 - パッチテスト
 - プリックテスト
 - 食物経口負荷試験
 - ヒスタミン遊離試験
 - 抗原特異的IgE検査

エコー・リレー

(558回)

(南から北へ北から南へ)

国語辞典

宮崎市 長嶺内科クリニック ^{なが みね もと ひさ}
長 嶺 元 久

短歌に親しむようになり、国語辞典を手にすることが多くなった。そのうち収集的要素も加わり、次第にその数が増えていった。今、書斎にあるのを挙げると、「岩波国語辞典」「三省堂国語辞典」「新明解国語辞典」「角川新国語辞典」「学研国語辞典」「ベネッセ表現読解国語辞典」「明鏡国語辞典」「新潮国語辞典 現代語古語」「広辞苑」「日本国語大辞典」など改訂版を含め、相当な数である。

これらの辞書にはそれぞれ特徴があり、用途に応じて、例えば基本的な意味を調べるのは「岩波国語辞典」、新語を知りたいときは「三省堂国語辞典」、文章を書くときには「ベネッセ表現読解国語辞典」と使い分けている。しかし、これだけでは語数、語義、古語の点から不十分なことが多く、次に「広辞苑」「日本国語大辞典」を開くことが多い。そして同様に引くことが多いのが「新潮国語辞典 現代語古語」である。それは現代語と古語が収載され、さらに和語（見出し語に平仮名を使用）と漢語・外来語（見出し語に片仮名を使用）の区別もでき、そのうえ、携帯できる大きさだからである。「菊」という語が和語ではなく漢語であることを知り得たのはこの辞書の御蔭である。ただ昨今、電子辞書（現在、私が使用しているCasioの電子辞書には「明鏡国語辞典」「広辞苑」「精選版日本国語大辞典」が収載されている）が普及してから紙製の辞書を使う機会がめっきり減ってしまったのは甚だ残念である。

ページ繰る傍線をひく重石(おもし)にす
どうだ出来まい電子辞書には
(歌集『百通り』平成29年発行)

[次回は、宮崎市の高村 一志先生をお願いします]

夏休みの自由研究

三股町 ホームクリニックみまた ^{こおり やま はる き}
郡 山 晴 喜

県外出身の私にとって三股は、毎年夏休みに飛行機に乗っておじいちゃんとおばあちゃん、いとこ家族に会いに行く場所でした。沖水川で遊んだり、ダイエー

に行ったり、サンピア都城の流れるプールで泳いだり、思い出は夏の風景ばかりです。

小学校何年生だったか、自由研究で大きな模造紙に三股の地図を描いたことがありました。毎日早起きしておじいちゃんの朝の散歩に着いて行き、三股駅、三股小学校、銀行や郵便局、前原ストアやスーパー谷山、とうもろこし畑、球体の乗ったすべり台のある公園など、散歩した先でおじいちゃんが撮った私の写真を大きな地図に貼っていったのを覚えています。

それから約30年。とうもろこし畑が住宅地に替わった三股の町で私は在宅医療をしています。診療所から近いところには徒歩で行くこともあります。子どもところに自分が描いた遠くの町の地図の中で自分が動き回るなんて誰が想像……いや、祖父は想像していたのかもしれない（産婦人科医であった祖父は、当院の前身である「山下医院」を50年ほど前に三股に開設しました。会員の先生の中にはよくご存じの方もおられるかと思います）。

模造紙いっぱい描いた世界は、住んで働いてみると三股のほんの一部でした。在宅医療のエリアは今や都城・三股のほぼ全域となり、新患の相談が来ると院長自ら地図で調べてわざわざ印刷しています。昔っから地図好きなもので。

[次回は、宮崎市の長嶺 和弘先生をお願いします]

メディアの目



県民の生命を守る「医療」「健康」報道とは

テレビ宮崎 報道部 部長

いの うえ ゆたか
井 上 豊

去年、50歳を迎えた。私にとって50代は、色々な想いがある年代だ。今から30数年前、私の父は53歳で他界した。そして今、私はその年齢に近づいている。それだけで、何とも言えない複雑な想いがよぎる。後で聞いた話では、父は病院嫌いで自分の体に多少の異常や異変があってもなかなか病院に行かず、気づいた時にはかなり進行していたという。

現在の自分はどうか。父が他界した約40年前と現在との大きな違いは、人間ドックなどの健診手段が格段に進歩したとともに企業の福利厚生として社員に健康診断を受けさせる機会が増えたことだと思う。私も定期的に人間ドックを受診し、血液検査、心電図、胃や腸の内視鏡検査、頭部MRIなど、体のどこかに「命のリスク」がないか、調べていただく機会に恵まれている。その結果はパーフェクトとは言えないが、直ちに命に関わるような病気の芽はなさそうである。もちろんそれだけですべての病気を早期に発見できるわけではないのだろうが、「命のリスクヘッジ」が、40年前とは比べ物にならないほど進化していることは間違いない。

もし父が当時、現在のような健診を定期的に受けられていたら、もっと長生きできたのではないか…。逆に、もし現在のような健診がなかったら、自分はきちんと健康を維持できていただろうか…などとなつて考えてしまう今日こ

の頃だ。

さてUMKのローカルニュースにおいて、「医療」「健康」というキーワードは重要だ。内容は「家庭でできる健康体操」のような柔らかいネタから「宮崎の最先端医療」のような専門性の高いネタまでさまざま。今年1月にはベテラン記者が、「PFO＝卵円孔開存閉鎖術」についてのレポートを放送した。医療系の取材は非常に難しく、準備時間もかかり、ハードルが高い仕事である。今回はベテランならではの渾身のレポートで、新しい知識を得ることができた。取材にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

ところでUMKではどのぐらいの頻度で「医療」「健康」のニュースを扱っているのか。試しに2021年に放送したニュース項目を検索してみると、「医療」は320件、「健康」は137件あった。もちろんコロナ禍で増えているのだが、コロナ前の数年を見ても毎年260～300件あった。やはり常日頃から、視聴者の関心が高い重要なテーマなのである。

「医療」「健康」の情報をあらゆる角度から発信し続けることは、視聴者に健康への想いを新たにさせていただく機会になると考えている。それによって病院に行かずに手遅れとなる人を1人でも減らせれば…それが、「県民の生命と財産を守る」報道につながるのではないか。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第4回 2022年4月に改正される個人情報保護法について



Q.

今年の4月に、個人情報保護法が改正されると聞きました。今回の改正によって、我々医療機関が注意すべき点は何でしょうか。また、個人情報を保護するために気を付けることを教えてください。

2022年4月より個人情報保護法が改正されます。今回の改正により、個人情報を取り扱う事業者の責任が重くなりました。特に医療機関において注意すべき改正点は以下のとおりです。

1 情報の漏洩による報告義務

医療機関が取り扱う患者の診療情報は、特に取り扱いに注意を要する要配慮個人情報に該当することが多いです。このような要配慮個人情報が、第三者に漏洩する事故が発生した場合、個人情報保護委員会への報告が新たな義務となりました。また、漏洩された患者本人への通知義務も新たに発生します。

2 漏洩が発生した場合の罰金額の高額化

個人情報の不正利用や漏洩が発生した場合、法人に対する罰金額が最大1億円に引き上げられました。

つまり、もし個人情報の不正利用や漏洩が生じた場合、医療機関は個人情報保護委員会や流出した患者全員に対して漏洩の報告をしなければならず、またその罰金額も高額となります。そのため、個人情報の適切な管理は、今後の医療経営においては必須となります。また、昨今では医療機関を狙った不正ハッキングも多発していることから情報セキュリティを高めていかなければなりません。

したがって、院長はもちろん、医療従事者全員が個人情報を適切に管理するという意識の向上を図っていくことが重要です。

(回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂)

A.



医師協同組合で、サイバー保険（個人情報漏えい保険 ※損害賠償1億円迄対応）を取り扱っておりますので、未加入の医療機関はお問い合わせください。

医師協同組合 TEL：0985-23-9100

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～12月～

令和3年11月29日～令和4年1月2日（第48週～第52週）

■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核16例（男性11例・女性5例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症3例：宮崎市（2例），都城（1例）保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳，10歳代及び40歳代であった。主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，発熱がみられ，原因菌のO血清型はO26（VT型不明），O血清型不明（VT1），不明が各1例であった。
- 4類：○E型肝炎1例（男性1例）：延岡保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で，主な症状として全身倦怠感，肝機能異常がみられた。
 - つつが虫病32例：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりであった。主な症状として頭痛，発熱，刺し口，リンパ節腫脹，発疹等がみられた。
 - レジオネラ症3例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代が2例，100歳代が1例で，病型は肺炎型が2例，ポンティアック熱型が1例であった。主な症状として発熱，咳嗽，肺炎，全身痛がみられた。
- 5類：○アメーバ赤痢1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は50歳代，病型は腸管アメーバ症で，主な症状として大腸粘膜異常所見がみられた。
 - ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代の女性で，病型はEBウイルスであった。主な症状として，発熱，肝機能異常，咽頭痛がみられた。
 - カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として尿路感染症がみられた。
 - 侵襲性肺炎球菌感染症2例：都城，延岡保健所管内から報告があった。年齢は50歳代と90歳代で，主な症状として発熱，意識障害，肺炎，菌血症等がみられ，ワクチン接種歴は有り，無しが各1例であった。
 - 梅毒13例（男性5例，女性8例）：宮崎市（12例），日向（1例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代が5例，10歳代及び30歳代が各2例，0～4歳，40歳代，60歳代及び80歳代が各1例であった。病型は先天梅毒と早期顕症梅毒Ⅰ期が各1例，早期顕症梅毒Ⅱ期が5例，無症状病原体保有者が6例であった。主な症状として初期硬結，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹等がみられた。
 - 破傷風1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，嚥下障害，痙攣がみられた。

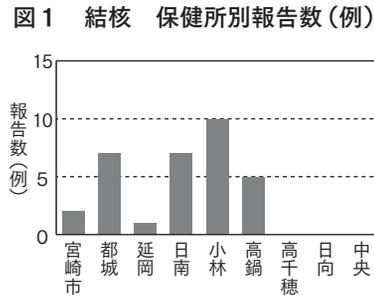
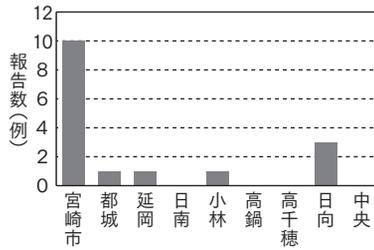


表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	10
肺結核及びその他の結核（結核性胸膜炎）	2
その他の結核（腸結核）	1
無症状病原体保有者	3

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
20歳代	1
40歳代	2
60歳代	1
70歳代	4
80歳代	7

表3 つつが虫病 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
30歳代	2
50歳代	4
60歳代	9
70歳代	10
80歳代	6
90歳代	1

■新型コロナウイルス等感染症

- 新型コロナウイルス感染症3例：中央（2例），宮崎市（1例）保健所管内から報告があった。年齢は30歳代が2例，50歳代が1例で，主な症状として発熱，咳，全身倦怠感，頭痛等がみられた。

■病原体検出情報（微生物部）

		検出病原体	件
細菌		EHEC (O26:H11 VT1)	3
		EHEC (OUT:HUT VT2)	1
		Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	1
		Salmonella Typhimurium (variant) (O4:i:-)	1
ウイルス		エコーウイルス6型	2
		ライノウイルス	1
		コクサッキーウイルスA6型	3

■ 5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,887人（定点あたり84.2）で、前月の128%、例年の70%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び水痘で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は207人（5.8）で前月の約2.4倍、例年の約2.1倍であった。中央（15.0）、都城（12.0）、日南（9.7）保健所からの報告が多く6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は659人（18.3）で前月の約4.2倍、例年の約1.2倍であった。日南（189.7）、中央（13.0）、宮崎市（4.8）保健所からの報告が多く、1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

前月との比較

	2021年12月		2021年11月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	207	5.8	88	2.4	★
咽頭結膜熱	115	3.2	51	1.4	
※溶レン菌咽頭炎	659	18.3	157	4.4	★
感染性胃腸炎	1,237	34.4	696	19.3	
水痘	59	1.6	16	0.4	
手足口病	421	11.7	1,035	28.8	★
伝染性紅斑	3	0.1	5	0.1	
突発性発しん	120	3.3	83	2.3	
ヘルパンギーナ	33	0.9	124	3.4	
流行性耳下腺炎	4	0.1	7	0.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	29	4.8	19	3.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■ 月報告対象疾患の発生動向〈2021年12月〉

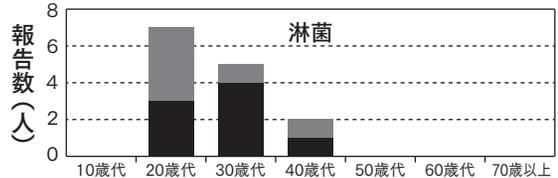
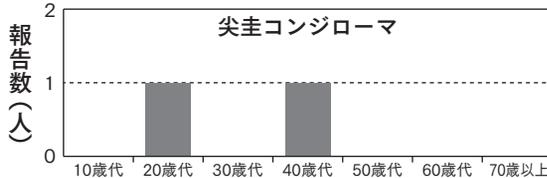
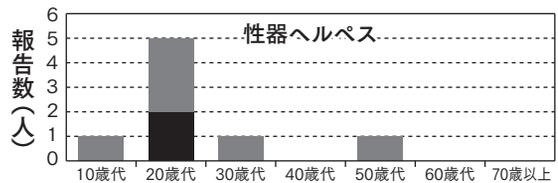
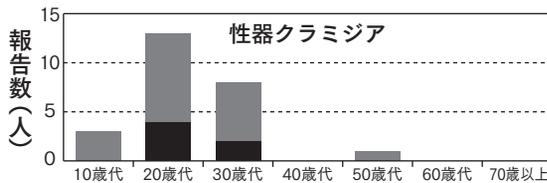
□ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は49人（3.8）で、前月比104%とほぼ横ばいであった。また、昨年12月（2.5）の約1.5倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数25人（1.9）で、前月とほぼ同率、昨年12月の約1.7倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。（男性6人・女性19人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人（0.62）で、前月の約0.7倍、昨年12月の約0.9倍であった。（男性2人・女性6人）
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月の2.0倍、昨年12月と同率であった。（女性2人）
- 淋菌感染症：報告数14人（1.1）で前月の約1.3倍、昨年12月の約2.3倍であった。（男性8人・女性6人）



■ 男 ■ 女

□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人（2.3）で、前月比76%と減少した。また、昨年12月（2.4）の94%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人（2.3）で、前月の約0.8倍、昨年12月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各郡市医師会だより

延 岡 市 医 師 会

延岡市医師会は11/20(土)～21(日)に延岡市が主催した『Out of KidZania in のべおか』に参加しました。キッザニアとは、3歳～15歳の子どもたちを対象とした職業・社会体験型施設で、楽しみながら社会のしくみを学ぶことを目的としており、1999年にメキシコで開催されたのを皮切りに世界各地に展開しています。日本国内には、東京と甲子園に常設の施設があり、今夏には福岡市にもオープンする予定です。その他各地に出張して短期間で行う『アウト オブ キッザニア』と呼ばれるものがあり、年間数か所で開催されています。延岡市は九州で4か所目、宮崎県では初めての開催でした。

内科系、外科系の2つのブースに分け、それぞれ4人ずつが1時間のプログラムを体験しました。午前・午後で4回、小4から中3までの延べ64人の子どもたちが参加してくれました。内科では発熱患者が来院したとの想定で、問診、診察、検査、診断、投薬までの一連の流れを、外科では骨折患者に対して、診断、ギプス固定、超音波検査、手術用手洗い、術衣などの装着、骨折模型を使った擬似手術などを体験してもらいました。

ほとんどの子どもたちが医療従事者の仕事に興味を持ってくれ、中には進路を決定した人もいました。また、延岡市は医療資源が枯渇しているのに、供給地になっている現状についても話し理解を深めてもらいました。この子どもたちに延岡の医療・介護を託せるようになることを祈念しています。

(佐藤 信博)

宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市の新型コロナワクチン接種対象人口(12歳以上)の中で2回目接種率は85.1%になり、現在、一旦接種体制が縮小され、日常の診療体制に戻つつあります。12月23日現在、宮崎県では新規感染者数0が続いていますが、オミクロン株など変異株の出現や、年末年始の人流の増加によって第6波が来ることが懸念されるどころです。12月より3回目ワクチン接種が医療従事者から始まりました。今のところ2回目接種から8か月を目処に接種券が順番に送られて来るので1回目ほどの予約の混乱はなさそうですが、ファイザー社に加えモデルナ社のワクチンが使用されるのでどうなるのでしょうか。

(原田 雄一)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

昨年の都城市北諸県郡の新型コロナウイルスのワクチン接種は医師会会員の先生方、薬剤師

の皆様、そして看護師の皆様の多大なご尽力、ご協力のおかげで集団接種、個別接種によりワクチン接種対象者の80%以上という高い接種率で計画どおり、順調に実施を終えることができました。また新たにオミクロン株が全世界を席卷中で今後第6波の襲来が懸念されます。医療従事者に対しての3回目の接種も始まり一般の方への接種も昨年同様に粛々と進めてまいるとともに医療体制の充実を図ってまいり所存です。

(江夏 剛)

日 向 市 東 白 杵 郡 医 師 会

新型コロナウイルス感染症の国内での患者発生が確認されてから2年以上経過し、この間、私たちを取り巻く環境は、新しい生活様式によって対面業務が困難を極めるなかICTによるコミュニケーション手法も増えています。「流行」といえるほどの新しい生活文化様式があらゆる分野に広がっています。一方、厳しい中であっ

ても変わらぬ姿勢で献身的に市民に寄り添う会員医療機関の皆様には、「不易」の大切さを感じます。芭蕉の残してくれた「不易流行」の思いを抱きながら今年も会の運営に努めていきます。
(千代反田 晋)

児 湯 医 師 会

昨年大晦日は在宅当番医でした。24名の患者さんでした。発熱、嘔吐下痢症が大半。日記を見ますと大晦日の当番が多く、過去20年間に3回担当しました。120名も受診されたこともあり、大半は帰省の方、インフルエンザも猛威を振るっていました。あと何回大晦日に働き(透析は毎日ですが)引退の潮時を因るのか?先日急患を総合病院にお願いしましたら、先輩のご子息に治療を快諾していただきました。救急隊に搬送依頼をしましたら、電話対応は同級生の息子様でした。時代の移り変わりをしみじみと感じ万事有り難く思いました。

(黒木 宗俊)

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

健康講座事業として市民公開Web講座を企画・予定しています。西都市と西都児湯医療センター、当医師会の共催で、医療センターの看護部より講師派遣をいただき『新型コロナ感染症との共存・共生の時代に 人生100年時代オーラルフレイルについて』と題して3月24日13時からハイブリッド方式で開催予定です。

西都市民には『人生100年時代 オーラルフレイル予防』という趣旨のチラシを全戸配付します。

西都市、医療センター、医師会の三位一体となって事業を行うことが、西都市にとって重要だと考えております。

(片山 陽平)

南 那 珂 医 師 会

2021年11月に日南市で「つわぶきハーフラソン大会」が2年ぶりに開催されました。救

護所当番のためゴール近くで待機しており、選手みなさんが最後の力を振り絞って走る様子を見ていました。完走者750人、70歳以上の方も35の方が完走されました。チャレンジ精神、また日々のトレーニングに励まれていることに感動しました。ゴールされた後に仲間と笑顔で健闘を称え合う姿が印象的でした。2022年は新型コロナも収まり、スポーツを通して心身の健康、人々の交流が深まってほしいものです。

(飛松 正樹)

西 諸 医 師 会

コロナ第5波がなんでか知らんけど脅威的スピードで収束しホッとしてた矢先にオミクロン株が出現し、現在こちらも驚異的スピードで感染拡大して行ってます。幸い感染力は強いが重症化率は低いようだとのことですが、3回目のワクチン接種を当院も12月はじめに先行接種組とキャンセル待ち組の希望をとり、先行組の40数名を早々に打ち終わりました。感染の急拡大の原因には慣れと気の緩みもあると思います。気を引き締めつつ早期にタミフルのような特効薬が潤沢に出回り、コロナがインフルエンザ程度に扱われるようになってくれることを祈念します。

(河内 謙介)

西 白 杵 郡 医 師 会

西白杵郡3町の3公立病院は令和6年4月からのスタートを目標に機能再編・経営統合に向けてヒアリングや話し合いが始まっています。また、新型コロナウイルスに関しては全国的にまだまだ収束の兆しが見えませんが、1月中には郡内医療従事者の3回目のワクチン接種が終了し、2月から高齢者に対する3回目の接種が始まります。各町ともそれぞれ1か所での集団接種となっていますが、冬場は雪の状況で接種率の低下が危惧されるところです。

(押方 慎弥)

宮崎大学医学部医師会

県医師会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回、この誌面を借りて、宮崎大学医学部附属病院の2021年10月からの執行部を紹介させていただきます。県医師会の皆様方にはご指導をいただいたり、一緒に活動をさせていただく機会も多いと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。

働き方改革・医療情報担当副院長の賀本敏行先生、医療安全管理担当副院長の恒吉勇男先生、経営企画担当副院長の古川貢之先生、診療担当副院長の河上洋先生、教育研究担当副院長の海北幸一先生、地域医療連携担当副院長の鈴木斎王先生、女性・若手医師担当副院長の東美菜子先生、看護担当副院長の福満美和さん、事務担当副院長の龍元裕貴さん、災害・地域貢献担当病院長補佐の落合秀信先生、メディカルスタッフ担当病院長補佐の山下善弘先生、薬剤担当病院長補佐の池田龍二先生、総務担当病院長補佐の山里善彦さん、管理担当病院長補佐の高橋圭郎さん、医事担当病院長補佐の鷹取あきさん、医療支援担当病院長補佐の久田雄司さん、総務医事担当病院長補佐の長友俊郎さん、女性医師担当病院長補佐の水口麻子先生、看護部担当理事補佐の久保敦子さんです。

このように、宮崎大学医学部附属病院も新体制となり医学部と連携しながら活性化し、診療、地域医療貢献を軸に教育、研究を行ってまいります。

宮崎県医師会の皆様には、これまで以上のご指導ご鞭撻のほどよろしく願い申し上げます。

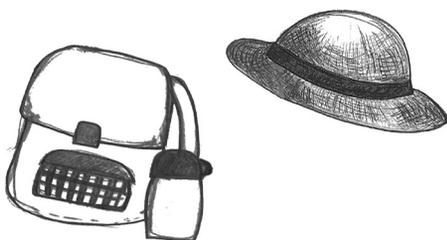
(帖佐 悦男)

お知らせ

カット、イラストの募集

日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。



原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101
genko@miyazaki.med.or.jp

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

宮崎大学医学部だより

内科学講座 — 消化器内科学分野 —



かわかみ ひろし
河上 洋 教授

内科学講座消化器内科学分野は、宮崎大学医学部附属病院においてすべての消化管から肝胆膵までの内科領域における消化器診療や研究、また内視鏡検査の中核である光学診療部を担当しています。

2015年9月より宮崎大学医学部附属病院に消化器内科学講座が設立され、2017年4月より講座再編が行われました。2016年4月に消化器内科学講座の教授として北海道大学より河上洋教授が就任され、胆膵疾患における最新の超音波内視鏡関連手技を自ら先頭に立ち大学病院の臨床の現場で厳しく指導にあたられています。また今年10月より当院の副病院長へも就任され、忙しい日々のさなか、臨床のみならず、多施設共同無作為化比較試験などの臨床研究への参加や若手医師への英語論文の投稿なども積極的に行っており、臨床医として患者様に直接還元できるような診療を心がけておられます。

2021（令和3）年11月現在ですが、河上洋教授、稲津東彦講師（病院教授）、永田賢治准教授をはじめ、教員12名、医員10名とともに大学病院にて診療・教育・研究を行っています。また6名の非常勤医師が精力的に大学の内視鏡診療のサポートを行っています。協力関連病院としては、県立延岡病院、県立宮崎病院、古賀総合病院、JCHO宮崎江南病院に医師を派遣しており、地域医療に貢献しています。

診療では、炎症性腸疾患に対して診断のために小腸内視鏡やカプセル内視鏡などの特殊検査を積極的に行い、血球除去療法や免疫抑制剤、生物学的製剤による治療を行っています。早期

消化管癌に対して最新の特殊光を用いた拡大内視鏡診断や、治療として内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、手術不能の進行癌に対して最善の化学療法を選択および放射線治療から緩和医療まで行っています。胆膵疾患に対して超音波内視鏡（EUS）、超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）、またERCP困難例に対しては積極的にinterventional EUSも行っています。肝疾患では肝細胞癌に対し肝動脈化学塞栓療法、ラジオ波焼灼療法、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などによる集学的治療を行い、食道胃静脈瘤に対して内視鏡的治療、カテーテル治療（IVR）、慢性肝疾患や肝腫瘍に対して超音波ガイド下肝生検などを行っています。また消化管出血などの救急疾患に対して救命救急センターとの連携により緊急対応を行っています。教育では屋根瓦方式を採用し、消化器内視鏡のシミュレーターを用いた学生実習、内視鏡トレーニングモデルを用いた研修医の指導、実臨床における消化管内視鏡検査を通じての若手医師の育成などを行っています。

当講座は新設講座であり、現在、旧講座のスタイルを継承しつつ、新しいシステムの確立に向けて改革を行っています。実際、カンファレンスや会議などの統合によって診療ガイドラインに基づいた的確かつ客観的な情報をあらためて共有し合うことでお互いの意識改革を行っています。

医療の細分化にともないそれぞれの診療はより煩雑さを増しているにもかかわらず、働き方改革や専門医制度の見直しなどのさまざまな問題も多く重なり日々多事多端ではございますが、志を高く、常に前を向いて努力していきたいと考えております。

全力で診療、研究、教育に尽くし、皆様から信頼される消化器内科専門施設を目指していきます。ご支援ならびにご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（消化器内科 医局長 三池 忠）

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会

と き 令和3年11月13日(土)

ところ 宮崎県医師会館 (Web開催)

本協議会は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、沖縄県那覇市・沖縄ハーバービューホテルと日本医師会・各県医師会を結ぶWeb会議によって開催された。

九医連の安里会長（沖縄県医）の挨拶の後、中川会長（日医）により「最近の医療情勢とその課題－新型コロナウイルス感染症対策に向けて－」と題して講演が行われた。

【日医 中川会長講演 要旨】

1 日本医師会員の先生方へのお手紙

2021年8月17日に新型コロナウイルスの爆発的な感染の拡大が全国規模で起きていることを受け、会員の先生方一人ひとりにあらためて協力を求める手紙を送ることを決め、8月28日から順次発送したことが報告された。

手紙では、現在の日本の状況を緊急事態とし、入院が難しい医療機関に今一度、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れの検討を、診療所にはでき得る限り自宅療養、宿泊療養患者の健康観察、電話などによる診療や往診を求めている。

2 新型コロナウイルス感染症対策

2020年4月7日以降行われた緊急事態宣言やまん延防止等重点措置について、それぞれの対策の特徴や感染者数の状況などの解説があった。日医としてはその時々で政府と意見交換や要望を行い、また、他の医療関連団体と協調しての緊急声明を発出したり、国民に向けて感染拡大防止のお願いを行ったことが報告された。



ワクチン接種については、医師会を挙げて取り組み短期間で急速に進んだこと、日医としては「ワクチン速報」で会員へワクチンに対する正しい情報を伝えたり、全国の好事例の横展開を図り地域でのワクチン接種推進の支援をしたことが報告された。

3 岸田内閣発足に当たって

岸田内閣が発足したことを受け、10月6日の定例記者会見で、新型コロナウイルス感染症対策や社会保障の充実に期待感を示し、コロナ対策として掲げられている「岸田4本柱」についても全力で協力するとした。そのうえで、岸田総理が社会保障政策に造詣が深いことから、引き続き医療界への力添えを要望した旨が報告された。

4 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の成立について

令和3年5月21日に「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が成立

した。日医の役員は今回の改正法案に深く関与し、国会審議においても今村副会長と猪口副会長が参考人として出席し意見陳述を行った。

(1) 新興感染症等の対策の5疾病5事業への追加

新興感染症などが、医療計画の5疾病5事業の6番目の事業に追加されたことを高く評価し、今後は、平時の対応と有事の対応を整理して具体的な計画に落とし込んでいく必要があるとした。平時からの準備として第一に、資材の準備、第二に医療従事者（特に専門スタッフ）と病床の確保を挙げた。10月12日、日医は後藤茂之新厚生労働大臣と会談を行った際に、医療計画における新興感染症対策事業の検討、施策の実施を前倒しで進めることを求めた。

(2) 病床機能再編支援事業

ダウンサイジング補助金（病床機能再編支援事業）は地域医療構想調整会議などの合意をふまえて行う自主的な病床削減や病院の統合による病床廃止に取り組む病院などに対して財政支援を行うものである。

地域医療構想は病床削減のためではなく、自主的な収れんを理念としており、だからこそ、調整会議で関係者が地域の実情をふまえた議論を行うことが重要であると考える。あらためて地域医療構想の理念を確認し、調整会議の議論を活性化できるよう、支援を続けていくと述べられた。

(3) 外来医療機能

外来機能報告を基に、地域医療構想調整会議を活用するなどして、「医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関」について協議を行うことになっている。今後、厚生労働省に設置予定の検

討会で詳細な議論が行われるが、データ至上主義ではなく、地域の実情をふまえた議論が必要であり、それこそが調整会議の役割でもあると説明された。

今回の改正法は、医師の働き方改革を適切に行い、有事にも強い医療提供体制を構築し、また、2025年に向け、各地域が自主的に医療機能を収れんしていくことを後押しするものでなければならない。日医は地域医療の現場の声を聞き、それを具体的な制度設計に活かしていくと述べられた。

5 新型コロナウイルス感染症患者受け入れのための病床確保について

日医は、四病院団体協議会並びに全国自治体病院協議会からなる「新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保対策会議」を設置し、2月3日には「新型コロナウイルス感染症患者の病床確保等に向けた具体的方策」をとりまとめ公表した。

現在、感染防止と経済再生の両立を目指す段階にシフトしつつある。政府の方針に協力を惜しまず、全力で新型コロナウイルス感染症の終息を目指していきたいとの考えを示された。

出席者－河野会長、濱田・山村副会長、

吉田・小牧・荒木・金丸常任理事、
峰松・嶋本・玉置理事、松本議長、
竹崎局長、園山次長、
久永・松本・野尻課長、
鳥井元・湯浅課長補佐、
畠中(ま)・横山・羽田野主事

第121回九州医師会総会・医学会

と き 令和3年11月13日(土)

ところ 県医師会館 (Web会議)

第121回九州医師会連合会総会・医学会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防策として、沖縄県の沖縄ハーバービューホテルをメイン会場に、日本医師会および九州各県医師会会場をWeb会議システムでつなぎ開催された。また、その模様は会員にもWeb配信された。

総 会

開会の辞、国歌斉唱の後、令和2年11月1日から令和3年10月31日までにご逝去された九医連会員250名の御霊に対し黙祷が捧げられた。

続いて、九医連の安里会長（沖縄県医）の挨拶の後、来賓の中川会長（日医）、玉城知事（沖縄県）、城間市長（那覇市）、自見参議院議員から祝辞があった。また、羽生田参議院議員からのお祝いのメッセージが披露された。

次に、九医連会則第18条により九医連の安里会長（沖縄県医）が議長となり、宣言および決議案が上程され全会一致で原案どおり承認・採択された。

最後に、次年度担当県で九医連副会長の近藤会長（大分県医）から、今回は令和4年11月26日(土)、27日(日)に大分市のホテル日航大分オアシスタワーで開催することが報告された。

挨拶（要旨）

九州医師会連合会長 安里 哲好

2年近くにわたり新型コロナウイルス感染症により世界各国が翻弄されている。会員の先生方には、感染予防、検査、診断、治療に加え、ワクチン接種などに各地域でそれぞれの役割を担われ、そして全力で取り組まれたおかげで、新型コロナウイルス感染症は急減し第5波が収束に向かっていることに、深甚なる敬意と感謝を申し上げる。世界的パンデミックとなったコ

ロナ禍の中で、本日ここに第121回の歴史ある大会を迎えることができたことに主催者として安堵すると同時に九州各県の先生方、関係各位の皆様にあらためて感謝申し上げたい。

さて、我が国では新型コロナ対策のほか、国民皆保険制度の堅持、医師の働き方改革、臨床研修制度や専門医制度による医師の地域・診療科の偏在、地域医療構想における病床機能の分化連携、地域特性を反映した地域包括ケアシステムの構築、外来機能報告制度、オンライン診療の拙速な導入への対応、そして近年、頻発、激甚化する自然災害や新興感染症対策などの課題が山積している。かかる状況の中、九州医師会連合会は国民の命と健康を守る専門集団として、日本医師会はもとより全国の医師会と連携を強化し、一致団結して取り組まなければならない。のちほどその実現に向け宣言・決議案を上程するので、会員各位の絶大なるご理解とご支援をお願い申し上げる。

本年7月沖縄本島を含むやんばるおよび西表島が世界自然遺産に登録された。本来であればご来沖いただき沖縄の大自然と癒しを体感し琉球舞踊や伝統工芸、そして琉球料理と泡盛をご堪能いただき皆様とともに楽しいひと時を過ごす予定だったが誠に残念である。ぜひ一日も早くコロナが収束し日常を取り戻し皆様とお会いできることを願っている。

結びにあたり、本総会・医学会の開催にご支援ご協力を賜った関係者の皆様方と九州各県会員各位に対し、重ねて御礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。

来賓祝辞（要旨）

日本医師会長 中川 俊男（録画配信）

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は全国的に低い水準を維持しており、医療提供体制も改善されてきている。新規感染者数が急減した要因は、いまだ解明されていないが、今後、第6波の強い懸念がある中で、政府に対し第5波の縮小要因を早急に分析することを要請している。そのような中、政府は行動制限を緩和する前提としてワクチン・検査パッケージの活用を示しており、各地で技術実証を開始している。これを受け、本会では去る10月19日内閣官房、厚生労働省と意見交換を行い、技術実証を通して運用上の課題を確認しつつ、適宜改善修正を加えながら、事業の実現につなげるよう要望した。

我が国のワクチン接種については、全国の医師会と医師会員の先生方の底力を見せていただいた。現在全体の7割が2回目のワクチン接種を済ませ、接種率は頭打ちになることなく着実に上昇している。一方でワクチン接種の先進国であるイギリスやシンガポールなどでは、いわゆるブレイクスルー感染が広がっており、我が国も決して予断の許さない状況である。政府の新型コロナウイルス感染症対策本部からは、次の感染拡大に向けた安心確保のための取組みの全体像の骨格が示され、今後感染が拡大した際に確保した病床が確実に稼働できる体制を構築するなどとしている。感染再拡大に備え、引き続き、関係団体と協力して取り組んでいく。

また、これから年末に向けては、次期診療報酬改定に際して、都道府県医師会の先生方からコロナやかかりつけ医の診療報酬上の取扱い、オンライン診療などについてさまざまなご意見・ご要望をいただいている。日本医師会は、どのような診療機能や診療科を選択したとしても、経営が成り立つ診療報酬体系であるべきという基本的な考え方のもと、適切に見直しが行われるよう鋭意議論に臨んでいく。この他、医師の働き方改革や外来医療機能の明確化など、医療を巡ってはさまざまな課題が山積しているが、執行部一丸となって、この難局に全力で取り組んでいくので、今後とも本会活動へのご理解とご協力を賜るようよろしくお願い申し上げます。

参議院議員 自見はなこ

もう2年となろうとしているコロナ対応では、すべての国民の皆様にあまねくワクチンを行きわたらせるという壮大なある意味では前人未踏のワクチン接種事業を、先生方のお力で推進していただいていることに感謝申し上げます。

私も国会に送っていただきもう5年半が過ぎようとしているが、さまざまな政策課題を頂戴しながら活動させていただいている。特にここ沖縄県からは外国人医療について問題提起をしていただき、そのことがきっかけとなり自民党に新しく外国人医療のための検討会を立ち上げた。当初、2020オリンピック・パラリンピック開催に向け、外国人観光客の受け入れ医療体制の構築の検討が急ピッチで進められ、医療基盤の整備、医療通訳、未払いの問題などに取り組んだ。その後、新型コロナウイルスの日本到来時に厚生労働政務官としてダイヤモンド・プリンセス号の船内で3週間過ごすという事態に遭遇した。約3,700人のうち2,000人に基礎疾患があり、そして50か国以上の外国人に対する外国語対応の医療提供体制は、実は沖縄県の先生方のご提案いただいたそのプログラムをそのまま当てはめることができ医療政策のつながりを実感した。その後も外国人医療の問題については、医療保険への加入義務化も含めてしっかりと政府で課題を受け止めていただいた。

また、コロナ医療全般に関しては、特に沖縄県は去年の8月に大きな波を全国に先んじて経験され、その経験のもとで新たな医療提供体制を構築された。コロナは当面終わることはないと思っているが、これからも先生方と一緒にさまざまな課題を乗り越えていきたいと思っている。

最後に、子宮頸がんワクチンについて、8年ぶりに接種勧奨再開が決定した。私たちの医療、医学の知識をしっかりと政策に反映させ、国民医療をしっかりと守り、次の世代に国民皆保険を引き渡してまいりたいと思っている。来年、新たな私の改選期を迎える。緊張感をもって頑張ったい。

宣 言

未曾有の事態を引き起こしている新型コロナウイルス感染症は、全国各地で波状的な感染拡大を繰り返し、未だ収束が見通せない。1年半以上も過酷な緊張状態にある医療現場は疲弊し、地域によっては医療崩壊に陥ったが、如何なる困難な状況においても医療従事者は強い使命感を持ち戦い続けた。

一方、団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途として、地域医療構想の実現や第8次医療計画の策定、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域の実情に即した過不足のない医療提供体制の整備を更に推し進めなければならない。

かかる状況の中、国は人生100年時代を見据え、全世代型社会保障の実現に向けて改革に動きだした。日本の国民皆保険制度は、現役世代から高齢者世代まで幅広い国民の安心・安全の基盤であり、この世界に冠たる国民皆保険制度を堅持するために必要な財源の確保を強く要求する。

2024年度から施行される医師の働き方改革は、医師の地域偏在や診療科偏在対策を含む医師確保計画や地域医療構想、医療計画とも密接に相関する。今後、各県において第8次医療計画策定に向けての議論が始まるが、休日夜間救急医療体制の在り方や、今回のような有事における人材確保・育成・リスクマネジメント等を含め、地域の実情を把握することにより必要とする医療提供体制の構築に努めなければならない。

加えて、医療・介護現場における看護職の人材不足は深刻な問題であり、適切な医療提供体制や地域包括ケアシステムを構築するためにも、安定的な看護師、准看護師の養成及び確保は必須である。

また、オンライン診療の時限的特例措置は、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間の実施であり、徹底した議論を行うことなく「骨太方針2021」に恒久化が盛り込まれ、閣議決定されたことは誠に遺憾である。診療の原則は、視診・触診・聴診等で患者の状態が把握出来る対面診療であり、医療の根幹を揺るがすような制度を拙速に導入することは回避すべきである。

さらに、近年頻発・激甚化する自然災害や新興感染症に備え、九州各県医師会が相互に連携協力し、迅速かつ的確な医療救護活動を実践するため、具体的な施策を早急に整備する必要がある。

我々九州医師会連合会は、諸課題の解決に向けて結束し、国民の生命と健康を守るため、これからも日本医師会と緊密な連携を図り、一致団結して取り組むことを、ここに宣言する。

令和3年11月13日

第121回九州医師会連合会総会

決 議

我々九州医師会連合会は、政府に対し、次の事項を強く要求する。

- 一、国民皆保険制度の堅持
- 一、社会保障制度充実のための適切な財源の確保
- 一、次期改定時における診療報酬の適正な評価
- 一、新型コロナウイルス感染症及び新興感染症の感染拡大防止策の更なる強化
- 一、新型コロナウイルス感染症に対する我が国のワクチンや治療薬の研究開発・製造体制の早期確立
- 一、日本版CDC（疾病予防センター）の創設
- 一、すべての新型コロナウイルス感染症患者に対する適切な医療の確保
- 一、地域特性を反映した地域包括ケアシステムの構築
- 一、医師の働き方改革における十分な議論構築と合意形成
- 一、オンライン診療の拙速な導入の回避
- 一、災害及び感染症対策の迅速な情報共有と適切な財政支援の確保
- 一、看護師及び准看護師の継続的な養成

以上、決議する。

令和3年11月13日

第121回九州医師会連合会総会

医学会 特別講演 I

(講演は録画、質疑は台湾よりLive配信)

**演題 「SARS後の台湾におけるCOVID-19対策
のための医療制度改革」****講師 国立台湾大学医学院教授
台湾医師公会全国聯合会
理事長 邱 泰源 先生**

台湾はSARSから教訓を得て、流行性感染症や新たな課題に対処できる体制を整備するため、医療制度改革に着手した。本日のテーマは、台湾の過去30年にわたる医療制度改革と、その基盤を活かしたコロナへの対応が中心である。

台湾は地域医療の質を向上させるための改革を3段階に分け行った。

第1段階は、1983～1991年。医療資源の乏しい地域に約170人の医師を派遣した。また、台湾を3つのエリアに分け、それぞれに地域医療研修センターを設置し、マンパワーの充実を図った。

第2段階は、1999年の921大地震、2003年のSARS流行時。クリニック5～10か所が連携し地域向けのサービスを提供する「地域医療グループ」を導入した。また、発熱患者用のスクリーニング検査所が各地に設置され、地域のクリニックで住民向けのスクリーニング検査のノウハウが確立された。この改革が今の台湾におけるコロナ対策の基盤となっている。

第3段階は、2011年の「家庭医制度」導入。市民中心・家族主体・地域立脚型のケアモデルであり、台湾大学医学院も携わり医療体制全体がこのモデルに合わせて調整された。この取組みにより、あらゆる新興感染症や疾患に対応するための強固な土台が形成された。

このような改革を経て地域医療が浸透していた台湾においては、コロナ発生時も初期段階からクリニックでの対応ができていた。その際、医師会が政府に要求した「保険証への滞在歴の入力」により、注意を要する患者を特定し相応の対応ができたことが重要であった。新規症例数を抑え、ピークに達するまでの期間を遅らせることができた。その間、医師会は、コロナ対策だけではなく医療全体を切れ目なく提供する方法を模索し、地域医療グループ、病院、スク

リーニングステーションを組み合わせた階層構造の一次医療モデルを提唱した。病院と診療所の緊密な連携により、医療現場の対応能力を維持し将来的に未知の病原体と戦うことを可能とした。

しかしながら、感染者数が増え病院の負担が大きくなると、次に、医師会は、家庭医に4つの依頼をした。1つめは、一次医療医として地域のスクリーニングステーションへの参加。2つめは、国民のメンタルヘルスケアへの対応。3つめは、予防医療、急性期および慢性期医療、在宅およびホスピスケアなどの必須医療の提供。4つめは、速やかなワクチン接種の推進である。その結果、診療所だけでなく、長期療養施設、個人宅などさまざまな場所でワクチン接種が行われ、ワクチン接種率は急激に上昇した。このとき、日本からも多くのワクチンを提供いただき感謝している。台日間で今後も緊密な協力関係を続けることが両国民の最大の幸福につながると信じている。

医学会 特別講演 II**演題 「首里城の復元と課題」****講師 沖縄県立博物館・美術館長****田名 真之 先生**

2019年10月31日未明、首里城火災が発生、正殿を始め主要な建物が全焼した。リアルタイムの映像が国内外へ配信され、同年4月のパリノートルダム大聖堂の火災に続く歴史的建造物の被災として世界中の注目を集めた。現地では、深夜にもかかわらず多くの人々が龍潭池畔に駆けつけ、燃え落ちる首里城を見上げて涙し、嗚咽の声を漏らした。

首里城は、これまでも4度の火災による再建を経験している。今回焼失した首里城も復帰20周年を迎えた1992年に復元されたものであるが、30年近くの年月を経て、県民にとってアイデンティティに関わる存在、沖縄の象徴としてかけがえのない存在となっていたのである。首里城復元の最大の意義はこの一点に求められる。

首里城復元に向けての動きは早かった。政府は、2019年11月には政府の責任での再建を明言。沖縄県は、11月に特別チームを発足させ、

2020年3月には「首里城復興基本方針」をまとめた。今回の復元は「平成の復元の踏襲」を基本としながらも、防災対策が最優先とされた。平成の復元は現地を更地にして工事が進められたが、今回は火災を免れた建物もあり、被災後の残存物もある中での工事となる。更に、復元過程を公開するとの方針に沿って来園者の見学スペースの確保も要求されている。他にも、建築用材の樹種や屋根瓦の文様の決定、石

彫、木彫の職人の確保、県内の人材養成、新たな調査研究の成果の反映等々多くの検討事項がある。

首里城の歴史を紐解くと、15世紀初頭に尚巴志により琉球国の主城として成立し、その後、数々の琉球の歴史の主要舞台となってきた。首里城を舞台に展開された歴史をどう演出していくかも今後の課題である。

1月のベストセラー（宮崎県）

集計：2022年1月1日～1月28日

1	空也十番勝負(六) 異変ありや	佐伯 泰 英	文春文庫
2	ヒトの壁	養老 孟 司	新潮新書
3	人は聞き方が9割	永松 茂 久	すばる舎
4	日本国紀㊤㊦	百田 尚 樹	幻冬舎文庫
5	寂聴 九十七歳の遺言	瀬戸内 寂 聴	朝日新書
6	私が見た未来 完全版	たつき	飛鳥新社
7	三千円の使いかた	原田 ひ 香	中公文庫
8	黒牢城	米澤 穂 信	KADOKAWA
9	ママがもうこの世界にいなくても	遠藤	和 小学館
10	私は私のままで生きることにした	キム・スヒョン	ワニブックス

国民年金基金 のご案内

日本医師・従業員支部

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部は、
「日本医師会」を設立母体とする
日本医師・従業員国民年金基金が、
全国基金への統合に伴い移行した
医師・医療従事者のための職能型支部です。

不確実な将来に、今、備える



国民年金基金は、
国民年金(老齢基礎年金)に上乗せする
「公的な年金制度」です。

国民年金基金のおすすめポイント ～節税しながら老後に備える～

1 税制上の優遇措置

- 掛 金** 掛金は全額社会保険料控除の対象となり所得税、住民税が軽減されます。(最高816,000円/年が控除の対象)
- 年 金** 受け取る年金にも公的年金等控除が適用されます。
- 遺族一時金** 遺族一時金は全額が非課税となります。

2 生涯にわたる給付

人生100年時代に向けた「終身年金」が基本です。

税理士のご紹介で
加入されている方が
増えております。

3 ご家族及び従業員の方も加入可能

同一生計のご家族の掛金も負担した方の社会保険料控除の対象となる税制面のメリットがあります。従業員の雇用確保の観点でご活用されているケースもあります。

国民年金基金に加入できる方

- 20歳以上60歳未満の国民年金の第1号被保険者の方
- 60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方
- 現在国民年金基金に加入していない方
- 「日本医師会年金」に加入されている方でも重複して加入できます。
- 厚生年金の被保険者は加入できません。



お問合せは下記の基金事務所へどうぞ

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部

お電話 **0120-700650**
FAX **03-5976-2210**

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-6-12 マグノリアビル2階

ポイント HP上でもシミュレーションや
加入申出のお手続きができます!

日本医師従業員 0120-700650

ホームページ <https://www.jmpnpf.or.jp>



日医インターネットニュースから

■オミクロン特有の医療の在り方, 検討を — 中川会長 —

中川俊男会長は1月12日の会見で、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」が拡大していることを受け、「これまでのコロナ医療とは違ったオミクロン株特有の医療の在り方を考える時期に来ている」との見解を示した。

感染が急拡大している沖縄県の現状を踏まえ、まずは全国的な検査体制の拡充と、ハイリスクの人や高齢者に重点を置いたコロナ医療の提供が必要だと提言した。

中川会長は日医総研客員研究員の高山義浩氏（沖縄県立中部病院）から報告を受けた沖縄県の現状を紹介した。沖縄県ではほぼオミクロン株に置き換わっており、感染は若者に集中している。若者のほとんどが軽症か無症状という。病床確保については、感染拡大が急速なため、準備病床から即応病床への転換が間に合っていないという。

医療従事者の感染状況は12日昼時点で、濃厚接触者を含めて医師、看護師、事務職員ら628人が働けない状況になっている。沖縄県は濃厚接触者となった医療従事者でも無症状の場合には、業務前にPCR検査などで陰性を確認することで就労を認めている。高山氏は濃厚接触者の就労制限・外出自粛の考え方を再検討する必要があるとしている。

●濃厚接触の医療従事者の扱い検討課題に

中川会長は感染者や濃厚接触者の取り扱いについて「国は対応を適時見直しており、ウイルスが変異を繰り返す過程に柔軟に対応している」と評価した上で「さらにスピード感を出してほしいと思う」と述べた。必要に応じて、厚生労働省が昨年8月18日付で出した濃厚接触者となった医療従事者に関する事務連絡の見直しも検討する必要があるとした。

沖縄県の検査の上限は1日約2万6,000件。陽性率が10%としても1日に新規感染者として捕捉できるのは約2,600人で、数日のうちに上限に達する見込みだ。高山氏は信頼できる検査のリソースを適切に配分することも考えていかなければならないとしている。

●オミクロン株「楽観視できない」

中川会長は報告を踏まえ、現状、感染は若者が中心でハイリスクの人や高齢者の症例が少なく、オミクロン株の重症化リスクの評価は困難だとした。重症化しにくいとしても感染者が増えれば、一定の割合で重症者数が増加するとし、「今の時点でオミクロン株を楽観視すべきではない」と強調した。

ワクチン接種については、早期に追加接種を進める必要があるとした。地域の医療機関での接種が大きな推進力になるとし、ワクチンの円滑な供給を国に求めた。具体的には、全国の在庫約900万回分の実態と接種予定を明らかにし、供給予定をきめ細かく医療機関に伝えてほしいとした。

経口のコロナ治療薬モルヌピラビルについては「誰にでもすぐに使用できるような認識も広がっている」とし、国に対して正しい情報提供を要請した。（令和4年1月14日）

■「感染症法の分類変更は非現実的」

— 岸田首相 —

岸田文雄首相は1月13日の会見で、現在「2類相当」となっている新型コロナウイルスの感染症法上の分類について、5類に見直すべきとの意見が上がっていることに関し、「今、（オミクロン株の）感染が急拡大している中で分類を変更することは現実的ではない」と述べ、直ちに分類変更を行う考えはないとの見解をあらためて示した。

一方、「オミクロン用に分類を変更すればいいという指摘があったが、新型コロナ自体が変異を繰り返すことが、特筆すべき部分」と指摘。今後の感染症法上の分類見直しの議論では、変異を繰り返すという特徴を念頭に置くべきとの見解を示した。（令和4年1月18日）

■OL診療に関する方針，全都道府県医同意 — 松本常任理事 —

日本医師会は1月19日の会見で，都道府県医師会長を対象としたオンライン診療に関するアンケートの結果を発表した。「オンライン診療は解決困難な要因によって，医療機関へのアクセスが制限されている場合に，対面診療を補完するもの」という基本的な考え方について，44医師会が「これでよい」と支持した。「その他」の3医師会も否定するものではなく，結果を報告した松本吉郎常任理事は「47医師会から同意をいただいた」と述べた。

医療機関へのアクセスが制限されている場合に相当するケースは，「離島・へき地など地理的アクセスが制限されている場合」が全47医師会，次いで「感染症の流行などで国や自治体から外出自粛が要請されている場合」が45医師会，「難病等診療可能な医療機関が限られている疾病に対する場合」が41医師会などとなった。

患者本人の都合でオンライン診療を行ってもよいと考えられるケースを聞いた質問では「解決困難な要因以外の患者都合で行うべきではない」が43医師会と最多だった。「患者本人の都合で来院しない場合（例：多忙なビジネスパー

ソン等）」に行ってもよいと回答したのは8医師会だった。

対面診療なしでオンライン診療のみで完結する診療については「一切認めるべきではない」が11医師会，「基本的に認めるべきではないが，結果的にオンライン診療のみで完結してしまった場合はやむを得ず認める」が15医師会，「（オンライン診療の適切な実施に関する）指針で認められている診療（禁煙外来など）のみ認める」は18医師会だった。

日医は「日本医学会連合オンライン診療の初診に関する提言」に沿って，初診からオンライン診療が可能か判断する方針をとっているが，この方針については41医師会が「これでよい」と答えた。初診からのオンライン診療に関する時限的・特例的取り扱いで処方禁止されている薬剤と，処方日数の上限を指針にも盛り込むべきとの日医の方針については45医師会が「これでよい」と回答した。

●高齢者にも分かりやすいデジタル技術で

中川俊男会長は離島・へき地などの高齢者に対して，対面診療の補完としてオンライン診療を活用できるよう，高齢者にも分かりやすいデジタル技術で支援することが必要だとの見解を示した。18日に開催した都道府県医師会長会議でもオンライン診療の在り方について議論しており，「具体的なことについては今後の中医協の中で主張していきたい」とした。

「医師として患者の安全を守る責務がある」とし，対面診療で信頼関係を築き，十分な情報を基礎として，医療の質を担保していかなければならないと強調した。（令和4年1月21日）

日医インターネットニュースは，日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

歩こう会の開催中止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今年度も開催を見送ることとしましたのでお知らせいたします。

保健事業のご案内

健康診断（特定健診）

※実施期間：令和4年3月末日まで ※請求期限：令和4年5月20日まで

◆対象者

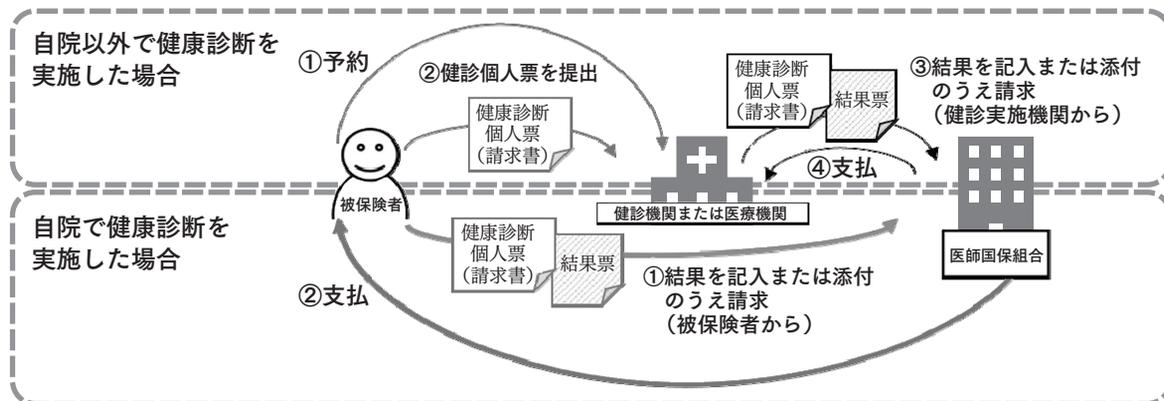
組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方も含む）

※年度中に40歳になる方～74歳の方（75歳になる方は誕生日の前日まで）は、特定健診対象者です。

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合へ請求することができます。



特定保健指導受診のお願い

対象者には、当組合より利用券を送付します。特定保健指導のご案内が届いた方は必ず受けてください。自己負担はありません。

医師国保からのお知らせ

<国民健康保険 保険料納付済証明書の送付について>

令和3年分国民健康保険 保険料納付済証明書について、組合員の先生方へ1月中旬に送付いたしました。確定申告の際に必要となります。

証明書は、再発行いたしかねますので紛失しないようご注意ください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

田 中 毅 一 先生

(昭和11年4月16日生 85歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き田中毅一先生のご葬儀が執り行われるにあたり、都城市北諸県郡医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

先生は、これまで地域医療一筋にご活躍をされてこられました。最近手術も受けられましたが、その後は自ら運転をして外出されるなど、元気に過ごしておられました。そんな折、体調を崩され入院されたとお聞きし、私ども会員一同、一日も早いご回復を念じておりました。

しかし、去る12月13日の午後11時7分に、先生がご逝去されたとの突然の訃報を受け、痛恨の念に絶えず残念で仕方ありません。

先生 急逝の知らせは、ほどなく全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

ましてや、ご家族、ご遺族の皆様方のお悲しみは察するに余り、お慰めの言葉もありません。私ども医師会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和11年4月16日、6人兄弟の末っ子として、地元都城市でお生まれになられました。長じて医学の道を志し、昭和37年に日本医科大学をご卒業、国立都城病院での実地修練を終え、医師としてのスタートをきられました。その後も国立都城病院、昭和39年8月からは都城中央病院にて研鑽を積み、昭和48年7月に、地域医療に貢献されるべく、都城市北原町に「田中内科医院」を開業されました。以来、開業医として永きにわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向上に貢献をされてこられました。



先生は、私ども医師会活動におきましても、多忙な診療の傍ら、都城市北諸県郡医師会 理事を昭和63年4月から4年間勤めていただきました。平成12年からの6年間は内科医会会長として当医師会の内科医療の向上に尽力されました。その功績により、平成25年4月には日本臨床内科医会地域医療功労賞を受賞されました。第一線を退かれてからも、すこやか苑施設長を平成24年4月から2年間お務めいただきました。

また、学校医を務められ、児童生徒の健康管理、保健衛生に精力的に取り組まれました。

これらのご功績に対し、昭和63年に公衆衛生事業功労として、県知事表彰、平成5年に学校保健功労として、都城市教育長表彰、平成11年に公衆衛生事業功労として、厚生大臣表彰、平成19年に学校保健功労として、県教育長表彰を受賞されました。

一方、先生は診療を離れますと、霧島の畑で、無農薬の有機野菜を作りながら、温泉を楽しまれたり、また、お酒が大好きで、医師会の会合で先生方と楽しく飲まれていたことを思い出します。私も開業間もないころ、優しく言葉をかけていただいたこと、昨日のこのように記憶しています。

先生には、お子様が三人おられますが、三人とも医師としてご活躍中であり、先生の後継者として立派にご意志を継いで医療に取り組まれておられ、先生もさぞかしご安心のことと思います。

先生、これからは、遥か彼方より、お子様のご活躍とご家族の安泰、ご繁栄、医師会の発展を末永くお見守りください。

最後になりましたが、先生がこれまで地域医療に捧げられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます、お別れの言葉といたします。

令和3年12月16日

一般社団法人 都城市北諸県郡医師会
会長 田口 利文



女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣，スクラブ，パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが，どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので，どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは，宮崎県医師会ホームページ
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550





令和3年12月7日(火) 第17回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①日本赤十字社宮崎県支部評議員の就任について
→任期満了にともなう河野会長に対する再任の依頼で、河野会長が就任することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①R 4.2/11(金) 令和3年度日本肝臓学会 肝がん撲滅運動市民公開講座への後援のお願いについて
→「知っておきたい肝臓病の最新知識」をテーマに、日南市で開催される市民公開講座で、後援を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 11月末日現在の会員数について
3. 12/2(木) 日医学術推進会議について
4. 12/5(日) (県医) 女性医師支援担当者連絡会について
5. 12/7(火) (県医) 治験審査委員会について
6. 12/3(金) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会について
7. 12/2(木) (県医) 県子ども救急医療電話相

談事業の意見交換会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 12/5(日) (宮観ホテル) 自見はなこ参議院議員との意見交換会について
2. 12/7(火) 自民党議員連盟国民医療を守る議員の会総会について

令和3年12月14日(火) 第2回理事会

医師会関係

(議決事項)

議案第1号

寄付金の受入れに関する件

第120回九州医師会医学会役員の立場で吉田常任理事から資料に基づき、歳入歳出決算についての説明が行われ、続いて、学会長の河野会長から、残金を生涯教育の充実を用途として寄付する旨の申し出があった。

寄付金等取扱規程第8条で、用途の指定がある寄付金については、受領について理事会の承認が必要と規定されているため、審議の結果、出席者全員(22名)の賛成をもって、原案どおり可決承認された。

議案第2号

固定資産適正化株式会社との業務委託契約に関する件

吉田常任理事から、資料に基づき、本会の固定資産の課税額が適正であるかを調査し、調査結果と納税額に差があった場合は行政へ還付申請をするために、固定資産適正化株式会社と業務委託契約を結ぶことについて説明があり、審議の結果、出席者全員(22名)の賛成をもって、原案どおり可決承認された。

令和3年12月14日(火) 第9回全理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 後援・共催名義等使用許可について**

①R4.2/5(土) 令和3年度宮崎県合同輸血研修会における名義後援について

→輸血医療の推進と血液事業の活性化を図ることを目的とした研修会で、後援をすることが承認された。

②R4.2/6(日) 令和3年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会研究大会の名義後援について

→「困難を乗り越える～私たちの新たな挑戦～」をテーマに開催される研修会で、後援をすることが承認された。

2. R4.2/12(土) 県歯科医師会災害対策研修会講師派遣について

急性期以降の災害対応の現状と今後の進め方について、各関係団体が講演などをする研修会への講師の派遣依頼で、災害医療担当の池井常任理事を派遣することが承認された。

3. R4.2/5(土) 九州医師会連合会第396回常任委員会並びに令和3年度第2回各種協議会の開催について

常任委員会については、河野会長の出席が承認され、提案事項については河野会長に一任することが承認された。各種協議会の出席者については各協議会2名までに制限されているため、各協議会の責任者である、地域医療対策協議会は金丸常任理事、医療保険対策協議会は小牧常任理事、介護保険対策協議会は石川常任理事が、議題などを勘案し調整することが承認された。

4. R4.2/5(土) 九州医師会連合会令和3年度第2回各種協議会の提案事項に対する回答について

各協議会の責任者である、地域医療対策協議会は金丸常任理事、医療保険対策協議会は小牧常任理事、介護保険対策協議会は石川常任理事が、回答を取りまとめることが承認された。

5. 第7次宮崎県医療計画中間見直し(素案)に係る意見照会について

県から第7次宮崎県医療計画中間見直しの素案が示されたため、本会から各郡市医師会や各専門分科医会等に意見を照会し、取りまとめたうえで県に回答をすることが承認された。

6. 中四九地区医師会看護学校協議会への参画について

加盟校が所在する各県医師会に対し、看護師・准看護師養成校を取り巻く諸問題の解決へともに対処をするため顧問として参画をしていただきたいという依頼であり、参画することが承認された。なお、本件については九医連常任委員会において、各県の判断で対応するということが決定している。

7. R4.2/13(日) 令和3年度母子保健講習会の開催について

地域医療における母子保健活動を円滑に実施するために必要な知識を修得するための研修会で、濱田副会長と高木常任理事の出席が承認された。

8. 第35回宮崎県医師会医学賞の推薦について

県医師会医学賞選考委員会が推薦する「宮崎市胃がんリスク層別化検診(ABC検診)受診5年後の追跡調査」尾上耕治先生(第44巻第2号)を医学賞とすることが承認された。

9. R4.1/25(火) 第3回各郡市医師会長協議会の開催について

開催することが承認された。議題については1/18日(火)開催の都道府県医師会長会議の報告および各郡市医師会からの質問事

項のほか、役員から提案事項があれば事務局に連絡することが承認された。

10. R4.2/25(金) 宮崎県医師会創立133周年記念医学会の開催について

医学賞授賞式、医学賞受賞者講演、特別講演を行うことと、Web方式で開催すること、また、開会前に県医師会役員が別会場に於いて医神祭を執り行うことが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 12/8(水) (支払基金) 支払基金支部運営委員会について
3. 12/8(水) (県医) 高次脳機能障がい講演会について
4. 12/13(月) (県庁) 県精神科救急医療システム連絡調整委員会について
5. 12/9(木) 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会について
6. 12/9(木) (ホテルメリージュ) 県デジタル社会推進協議会について
7. 12/13(月) (県医) 広報委員会について
8. 12/10(金) 日医勤務医委員会について
9. 12/10(金) (県防災庁舎) 県地域医療対策協議会について
10. 12/10(金) (県医) 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)について
11. 12/12(日) (県医) 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会について
12. 11/24(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
13. 12/11(土) (県医) 産業医研修会について
14. 11/18(木) (県防災庁舎) 県特定行為に係る看護師の研修制度推進検討会について
15. 11/19(金) (県医) 医学賞選考委員会について
16. 11/24(水) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
17. 12/4(土) (県医) 日医家族計画・母体保護法

指導者講習会について

18. 11/20(土) 日医未来医師会ビジョン委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 自見はなこ参議院議員への寄附について
協力することが承認された。
2. 12/20(月) 衆議院議員西村やすとし君飛躍の集いのご案内について
安倍元内閣総理大臣を講師に開催されるセミナーで、協力することが承認された。

(報告事項)

1. 11/30(火) (県医) 医協理事会について

令和3年12月28日(火) 第18回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 令和3年度医療事故調査制度に係る「支援団体統括者セミナー」の開催について
医療事故調査制度による院内調査を行うにあたっての知識・技能を習得するためのセミナーで、山村副会長並びに本会医療事故調査支援委員1名および委員の所属する医療機関の看護師1名の参加が承認された。
2. 会費減免申請について
高齢による日医会費減免1名が承認された。
3. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について
感染症発生動向調査事業に協力をする指定届出機関の任期満了にともなう推薦の依頼があり、インフルエンザ定点58, 小児科定点36, 眼科定点6, STD定点13, 基幹定点7, 疑似症定点23の医療機関を推薦することが承認された。
4. 後援・共催名義等使用許可について
① R4.9/10(土) 2022年度「第51回日本消化器がん検診学会九州地方会」の後援に

ついて

→「これからの消化器がん検診」をテーマに宮崎市で開催される学会で、後援することと寄付に協力することが承認された。

②R 4.2/19(土)「NPO法人日本医師事務作業補助研究会第16回宮崎地方会」名義後援申請について

→医師事務作業補助者のスキルアップのために「医師事務の教育体制づくり」をテーマに開催される研修会で、後援することが承認された。

5. 本会外の役員等の推薦について

①教職員疾病審査委員会委員の推薦について
→任期満了にともなう推薦依頼で、本会が推薦している内科2名、外科1名、整形外科1名、産婦人科1名、精神科2名について、再任の方向で現委員の意向を確認し、辞任の申出があれば専門分科医会に人選を依頼することが承認された。

6. 「住宅と健康に関するオンライン学習会（令和3年度国土交通省事業）」への貴団体会員のご参加のお願い

住環境と健康に関する啓発事業で、会員への周知に協力することが承認された。

7. R 4.1/20(木) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

4 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、川野理事を立会人として派遣することが承認された。

8. 厚生功労に係る令和4年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦について

郡市医師会に照会の結果、推薦がなかったため、再度照会のうえ回答することとなった。

9. 1・2月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 12/21(火) (県医) 日医理事会について
3. 12/22(水) 日医会員の倫理・資質向上委員会について
4. 12/24(金) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について
5. 12/17(金) (県医) 自殺対策うつ病研修会について
6. 12/24(金) (県医) 日医公衆衛生委員会について
7. 12/17(金) (県庁) 県個人情報保護審議会について
8. 12/17(金) (県医) 広報委員会について
9. 12/18(土)・19(日) (シーガイア) 指導医のための教育ワークショップについて
10. 12/16(木) 日医地域包括ケア推進委員会について
11. 12/18(土) (県医) かかりつけ医認知症対応力向上研修会について
12. 12/20(月) (県医) 在宅医療研修会企画小委員会について
13. 12/21(火) (県医) 医師会立看護学校担当理事連絡協議会について

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	e	a	a	a	a, c	d	e	a	a

県 医 の 動 き

(1月)

4	新年賀詞交歓会（会長） 仕事始め式（会長）	20	社会保険医療担当者の新規個別指導（川野理事） 県医療的ケア児等支援部会（Web会議） （石川常任理事他）
8	医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議）	21	医師国保組合定例事務監査（秦理事長他）
11	新県立宮崎病院開院式典（会長） 治験審査委員会（荒木常任理事他） 第19回常任理事協議会（会長他）	22	（福岡）九州各県内科医会長会議 日医未来医師会ビジョン委員会（Web会議） （大塚理事）
12	母体保護法設備指定申請に伴う現地視察 （濱田副会長） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他）	24	広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキング グループ（Web会議）（金丸常任理事）
13	県認知症疾患医療センター合同会議 （石川常任理事） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （嶋本理事他）	25	日医連執行委員会（Web会議）（河野委員長他） 医協理事会（河野理事長他） 第10回全理事協議会（会長他） 医協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他） 各郡市医師会長協議会（会長他）
14	県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 （石川常任理事） 全国医師国保組合連合会理事会（Web会議） （秦理事長） 病院部会・医療法人部会合同理事会 （池井常任理事他） 地域医療委員会（Web会議）（会長他）	26	女性医師復職等支援事業に関する宮崎生協病 院への訪問（荒木常任理事） 労災診療指導委員会（川野理事）
15	県訪問看護ステーション連絡協議会管理者向 け研修会（池井常任理事）	27	県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会（Web 会議）（峰松理事） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
16	地域包括診療加算・地域包括診療料に係るか かりつけ医研修会	28	都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担 当理事連絡協議会（Web会議）（濱田副会長他） 県医療審議会（会長他） 県外科医会理事会（Web会議）（岩村理事）
17	県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会（Web 会議）（高木常任理事） 医療機関税制セミナー（Web会議） （小牧専務理事）	29	県産婦人科医会冬期総会・講演会（Web会議） （嶋本理事他）
18	日医理事打合会（Web会議）（会長） 日医理事会（Web会議）（会長） 都道府県医師会長会議（Web会議）（会長） 医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議） 県新型コロナウイルス感染症対策協議会 （濱田副会長他）	30	日医JMAT研修（ロジスティクス編）（Web会議） 日本プライマリ・ケア連合学会ブロック支 部長会議（Web会議）（金丸常任理事）
19	臨床検査精度管理調査実行委員会（Web会議） 母体保護法指定医師審査委員会（濱田副会長他）	31	勤務医部会第2回理事会（Web会議） （金丸常任理事他） 勤務医部会後期講演会（Web会議） （金丸常任理事他）
20	日医地域包括ケア推進委員会（Web会議） （石川常任理事他）		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和4年1月4日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

1) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	4	3	1
精 神 科	1	1	0
老 健	1	0	1

2) 女性医師求職登録数 2人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	2	0	2

2. 斡旋成立件数 85人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和3年度	4	3	7
平成16年度から累計	61	24	85

3. 求人登録 105件 351人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	103	80	23	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	26	22	4	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	31	24	7	健 診	8	5	3
精 神 科	17	15	2	泌 尿 器 科	5	3	2
脳 神 経 外 科	11	7	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	16	14	2	皮 膚 科	4	2	2
麻 酔 科	12	9	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	10	8	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	11	10	1	人 工 透 析	8	6	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科 ・ 内 科	5	4	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
脳 神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	9	8	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	3	3	0
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	5	5	0	そ の 他	6	6	0
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	351	280	71

求人登録者（公開）

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230212	医)青葉会のざきクリニック	宮崎市	内,在宅	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透,(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三 股 町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三 股 町	精,内	2	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健賢会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ大貫診療所	延 岡 市	内,外 (いずれか)	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	5	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串 間 市	不問	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和4年1月4日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡ (603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ 2階 638.35㎡ 計 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	③ 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり(22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫	所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyoun@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年1月27日

2		月				
1	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第20回常任理事協議会	15	火	13:00 日医理事打合せ (Web会議) 14:00 日医理事会 (Web会議) 19:00 医師の働き方改革に関する研修会 (Web会議)	
2	水	13:30 全国国保組合協会理事長・役員研修会 (Web会議) 18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議) 19:00 胃がん検診内視鏡検診従事者研修会 (Web会議)	16	水	15:00 産業保健総合支援センター運営協議会	
3	木	13:30 宮大経営協議会・学長選考会議 (Web会議) 19:00 新型コロナウイルス感染症に関する会見 (勉強会) (Web会議)	17	木	14:00 社会保険医療担当者の新規個別指導 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 18:45 県スポーツドクター連盟総会 (Web会議) 19:00 健康スポーツ医学セミナー (Web会議)	
4	金	13:30 県歯科保健推進協議会 16:00 女性医師復職等支援事業に関する古賀総合病院への訪問	18	金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web会議)	↑
5	土	14:00 九医連常任委員会 (Web会議) 15:00 九医連各種協議会 (Web会議)	19	土	14:00 日医医療情報システム協議会 (Web会議)	↑
6	日	13:00 日医医療秘書認定試験	20	日	9:00 日医医療情報システム協議会 (Web会議)	国
7	月	15:00 県看護協会新人看護職員研修推進協議会 19:00 緩和ケアチーム研修会 (Web会議)	21	月	19:00 広報委員会 (Web会議) 19:00 外国人患者対応に関する研修会 (Web会議)	保
8	火	19:00 第21回常任理事協議会	22	火	18:30 医協理事会 19:00 第11回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	社
9	水	13:30 医療的ケア運営協議会 (Web会議)	23	水	12:50 レジナビFairオンライン 宮崎県2022～臨床研修プログラム～ (天皇誕生日)	保
10	木	18:30 県循環器病対策推進協議会 19:00 広報委員会 (Web会議) 19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	24	木	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 医師国保組合理事会	査
11	金	(建国記念の日)	25	金	10:00 九州各県アイバンク連絡協議会・全国アイバンク連絡協議会 (Web会議) 18:45 医神祭 19:00 創立133周年記念医学会 (Web会議)	↓
12	土	15:00 県歯科医師会災害対策研修会 (Web会議) 16:00 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会 (Web会議)	26	土	13:00 古川禎久法務大臣就任祝賀会 15:00 母体保護法指定医師研修会 (Web会議)	保
13	日	12:10 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会 (Web会議) 13:00 日医母子保健講習会 (Web会議)	27	日	13:00 日医医療事故調査制度に係る支援団体統括者セミナー (Web会議)	査
14	月	18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議) 19:00 県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会 (Web会議)	28	月	18:30 県外科医会冬期講演会 (Web会議) 19:00 介護保険に関する主治医研修会 (Web会議)	↓

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年1月27日

3		月	
1	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第22回常任理事協議会	16 水 19:00 広報委員会 (Web会議)
2	水	15:00 労災診療指導委員会 16:30 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議)	17 木 日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議) 19:00 県医医学会役員会 (Web会議)
3	木	19:00 県内科医会理事会 (Web会議)	18 金 (東京) 全国国保組合協会通常総会 13:00 日医2021年度防災訓練 (災害時情報通信訓練) (Web会議) 13:30 宮大経営協議会・学長選考会議 17:00 県地域医療対策協議会
4	金	13:30 日医公衆衛生委員会 19:00 県医連執行委員会・参議院議員自見はなこ先生国政報告会	19 土 20 日
5	土	14:30 産業医研修会 (TV会議) 15:30 県産婦人科医会ひむかセミナー (Web会議)	21 月 (春分の日)
6	日	9:00 県産婦人科医会ひむかセミナー (Web会議)	22 火 18:30 医協理事会 19:00 第23回常任理事協議会
7	月		23 水 15:00 労災診療指導委員会 19:00 広報委員会 (Web会議) 19:00 県臨床研修・専門研修運営協議会 (Web会議)
8	火	19:00 第3回理事会 終了後 第12回全理事協議会	24 木 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
9	水	16:00 支払基金支部運営委員会	25 金 10:00 日医医師会共同利用施設検討委員会 19:00 県外科医会理事会 (Web会議)
10	木	19:30 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)	26 土
11	金	19:00 医師国保組合通常組合会	27 日 9:30 (日医) 日医臨時代議員会
12	土	10:30 保育支援事業スキルアップ研修会 13:30 臨床検査精度管理調査報告会 (Web会議) 17:20 (山口) 九州医師協同組合連合会購買・保険部会	28 月 14:00 県がん診療連携協議会 (Web会議)
13	日		29 火
14	月	18:15 県公害健康被害認定審査会	30 水 14:00 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会 (日医TV会議)
15	火	13:00 日医理事打合会 14:00 日医理事会 18:00 医師クランク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)	31 木 14:00 日医学術推進会議 (Web会議)

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月3日(木) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	最近，一年間(令和3年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 2月4日(金) 19:00~20:00 南那珂医師会館 ※現地またはWeb	たくさんの抗糖尿病薬を上手に使うには？ 宮崎大学医学部 内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 講師 上野 浩晶	76 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 大日本住友製薬(株)
第197回宮崎県眼科 医会講習会 2月5日(土) 16:30~19:00 宮崎観光ホテル	涙道疾患のup-to-date 愛媛大学医学部 眼科学教室 教授 白石 敦	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬(株)
	再考！加齢黄斑変性診療 東京女子医科大学病院 眼科 教授 飯田 知弘	36 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第30回宮崎心エコー研究会 (Web講習会) 2月7日(月) 19:00~20:15 第一三共宮崎営業所 ※受講はWebのみ	心エコーを心臓手術にどう活かすか? 琉球大学医学部 胸部心臓血管外科学講座 教授 古川 浩二郎 他	15 (0.5) 42 (0.5)	◇主催 宮崎心エコー研究会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎市郡産婦人科医会2月例会学術講演会 (Web講習会) 2月7日(月) 19:00~20:45 ホテルメリージュ ※受講はWebのみ	産婦人科医療の新しい展開 九州大学大学院医学研究院 生殖病態生理学分野 教授 加藤 聖子	7 (0.5) 71 (0.5)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 富士製薬工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 (Web講習会) 2月8日(火) 19:00~20:15 ガーデンベルズ小林 ※受講は現地またはWeb	関節リウマチ日常診療のポイント：高齢化社会と医療ニーズを踏まえて 宮崎大学医学部内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 准教授 梅北 邦彦	12 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 アッヴィ合同会社
令和3年度第2回都城市CKD予防連携医研修会 (Web講習会) 2月8日(火) 19:15~20:45 ホテル中山荘 ※受講は現地またはWeb	都城市におけるCKD予防連携システムについて 都城市健康部健康課 保険相談担当 菅付 悦子 ----- I. 小児腎疾患（特発性ネフローゼ症候群・IgA腎症）の移行医療の現状と課題 II. 夜尿症診療 埼玉県立小児医療センター 腎臓科 科長 藤永 周一郎	6 (0.5) 64 (0.5) 67 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 帝人ヘルスケア(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<p>都城市北諸県郡医師会学術講演会 (Web講習会) 2月10日(木) 19:00~20:30 都城ロイヤルホテル ※受講は現地またはWeb</p>	<p>最新の心房細動診療を考える 佐賀大学医学部 内科学講座 主任教授 野出 孝一</p>	<p>5 (0.5) 6 (0.5) 18 (0.5)</p>	<p>◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 第一三共(株)</p>
<p>宮崎市郡内科医会学術講演会 (Web講習会) 2月14日(月) 18:50~20:00 KITEN ※受講はWebのみ</p>	<p>糖尿病性腎臓病(DKD)の病態を考慮した糖尿病治療 内科阿部医院 院長 阿部 克成</p>	<p>42 (0.5) 61 (0.5)</p>	<p>◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100</p>
<p>宮崎県医師会産業医研修会 2月14日(月) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医師会館</p>	<p>最近, 一年間(令和3年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会: 2単位</p>	<p>3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)</p>	<p>◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会</p>
<p>宮崎県医師会産業医研修会 2月17日(木) 14:00~16:00 県医師会館</p>	<p>職場でのアルコール依存症に対する対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会: 2単位</p>	<p>9 (0.5) 11 (0.5) 17 (0.5) 69 (0.5)</p>	<p>◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会</p>

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第17回在宅医療実践のための多職種協働研修会 (Web講習会) 2月17日(木) 19:00~20:00 宮崎市郡医師会病院 ※受講はWebのみ	多職種連携のもと「最期まで自分らしく生きたい」と 思う患者様への支援 セントケア訪問看護ステーション宮崎 管理者 松下 るみ 宮崎ホームケアクリニック 院長 長澤 伸二	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域 包括ケア推進センター ☎0985-77-9106
宮崎県医師会産業 医研修会 2月24日(木) 19:00~21:00 県医師会館	精神科産業医が遭遇する困難事例(2) 産業保健相談員 西都病院 生涯研修の専門研修会: 2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡産婦人科 医会2月例会学術 講演会 (Web講習会) 2月24日(木) 19:00~20:00 P's SQUARE(ピー ズスクエア) ※受講はWebのみ	不妊治療を基本から学ぶ ~一般不妊治療から生殖補助医療まで~ 琉球大学病院 周産母子センター 教授 銘苺 桂子	2 (0.5) 55 (0.5)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 科研製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
宮崎市郡医師会産 業医研修会 (Web講習会) 3月12日(土) 14:30~16:30 宮崎市郡医師会館 ※受講は現地また はWeb	産業医・産業保健に必要な職域連携 ~ファシリテーションの力を育もう~ 串間市民病院 病院長 江藤 敏治	4 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第66回宮崎県スポーツ学会 3月26日(土) 15:00~19:00 県医師会館	膝靭帯再建術の現況と課題 北海道大学病院 スポーツ医学診療センター 教授 近藤 英司	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

日本医師会生涯教育カリキュラム (2016)

カリキュラムコード (略称: CC)

1 医師のプロフェッショナリズム	29 認知能の障害	57 外傷
2 医療倫理: 臨床倫理	30 頭痛	58 褥瘡
3 医療倫理: 研究倫理と生命倫理	31 めまい	59 背部痛
4 医師-患者関係とコミュニケーション	32 意識障害	60 腰痛
5 心理社会的アプローチ	33 失神	61 関節痛
6 医療制度と法律	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療の質と安全	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 感染対策	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防と保健	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 地域医療	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 医療と介護および福祉の連携	41 嘔声	69 不安
14 災害医療	42 胸痛	70 気分の障害 (うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常 (下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療 (漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	0 その他

診療メモ



知っておきたい、新しい心不全治療薬

宮崎市郡医師会病院 循環器内科 小岩屋 宏

はじめに

昨今の日本においては、高齢者数の増加にともない、心不全患者の数は増加の一途を辿っています。心不全は左室の収縮性、つまり左室駆出率 (LVEF: Left Ventricular Ejection Fraction) により、LVEFが低下した心不全 (HFrEF: Heart Failure with reduced EF) とLVEFが保持された心不全 (HFpEF: Heart Failure with preserved EF) に分けられますが、いずれの心不全の予後も悪性腫瘍と同様に、不良であることが指摘されています。一方、慢性心不全に対する薬物療法は、ACE (Angiotensin Converting Enzyme) 阻害薬またはARB (Angiotensin II Receptor Blocker), β 遮断薬, ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬 (MRA: Mineralocorticoid Receptor Antagonist) を投与すること、またそれらの薬剤を最大量あるいは最大忍容量まで増量すること、すなわち薬物療法を適切に行うことを推奨しています。

近年、いくつかの新しい心不全治療薬が登場し、更なる治療効果の向上が期待されています。本稿では、2021年春に発表された日本循環器学会 (JCS) 心不全診療ガイドラインフォーカスアップデート版に沿って、新しい心不全治療薬について紹介させていただきます。

1. SGLT2阻害薬

ご存知のように、SGLT2阻害薬は腎臓の近位尿細管のナトリウム・グルコース共輸送体2 (SGLT2) を阻害することにより、尿中からのグルコース再吸収を抑制し、血糖を下げる糖尿病治療薬です。最近、このSGLT2阻害薬は糖尿病患者において複合心血管イベントや心不全

による入院を有意に低下させることが報告され、脚光を浴びています。興味深いことにSGLT2阻害薬の予後改善効果は、糖尿病の合併の有無に関わらず認められました。JCSのガイドラインでは最適な薬物療法 (ACE阻害薬またはARB, β 遮断薬, MRA) にも関わらず心不全症状をともなうHFrEF患者に対するSGLT2阻害薬の追加をClass I として推奨しています。更に、最新のデータは今まで確立した治療薬がなかったHFpEF患者に対する有効性も報告され、世界的にも大きな注目が集まっています。

2. イバブラジン

心不全の予後と心拍数の間には負の相関関係が認められたことから、これまで慢性心不全治療には陰性変時作用を有する β 遮断薬が広く用いられてきました。しかし、血圧低下や陰性変力作用による心不全再増悪を来することが問題とされてきました。一方、イバブラジンは『血圧低下や心収縮能の低下を来さずに、心拍数だけを減らす心不全治療薬』とされています。JCSガイドラインでは最適な薬物療法 (ACE阻害薬またはARB, β 遮断薬, MRA) にも関わらず心不全症状をともなう、洞調律かつ心拍数が75拍/分以上のHFrEF患者に対して、Class II a として推奨しています。なお、適応が洞調律のみであることには注意が必要です。

3. ARNI (Angiotensin Receptor Neprilysin Inhibitor, サクビトリル・バルサルタン)

心不全の発症と進展においては、神経体液性因子の活性化、特に交感神経系とRAS (Renin-

Angiotensin System) の活性化が関与しています。一方、これらに拮抗し、心筋保護にはたらく因子としてナトリウム利尿ペプチドがありますが、ナトリウム利尿ペプチドは血中や組織においてネプリライシンという酵素により分解されることが知られています。ARNIはこのネプリライシンを阻害するサクビトリルと、アンジオテンシンIIが作用するAT1受容体拮抗薬であるARB（バルサルタン）を結合した薬剤です。ARNIは慢性心不全治療薬のゴールドスタンダードであるACE阻害薬との比較試験において、HFrEF患者の予後を有意に改善することが明らかにされました。JCSガイドラインでは最適な薬物療法（ACE阻害薬またはARB、β遮断薬、MRA）が行われているHFrEF患者において、ACE阻害薬またはARBからARNIへの切替を行うことはClass Iとして推奨されています。ARNIはナトリウム利尿ペプチドの増加とRASの抑制という2つの異なる神経体液性因子の調整を行う心不全治療薬であり、その相乗的な治療効果が期待されます。

4. ベルイシグアト

ベルイシグアトはすでに肺高血圧症の治療薬として使用されているリオシグアトと同様の構造活性を有する経口可溶性グアニル酸シクラーゼ(sGC) 刺激薬であり、リオシグアトよりも作用時間が長いことが特徴です。心不全では酸化ストレスや内皮機能障害が起こり、一酸化窒素(NO) の産生やbioavailability（生体利用効率）が低下します。その結果、sGCの活性化が低下し、cGMPが欠如することによって、血管障害や心筋障害が引き起こされます。ベルイシグアトはNO非依存的にsGCを直接刺激する作用と、NOに対するsGCの感受性を高める作用を有する、新しい系統の心不全治療薬です。JCSガイドラインでは『今後期待される治療』として記載されていますが、最近の臨床研究では3か月以内に心不全増悪の既往があるHFrEF患者に対する最適な薬物療法にベルイシグアトを上乗せ（追加）することの有効性が報告されました。ベルイシグアトはこれまでの心不全治

療にない新しい作用機序を有する薬剤であり、HFrEF患者に対する新たな選択肢として、慢性心不全の予後改善に期待されています。

おわりに

本稿において、紹介した新しい心不全治療薬は、いずれの薬剤も大規模臨床研究の結果、既存のHFrEFに対する薬物療法よりも良好な結果を示しました。しかし、いずれの薬剤の効果も既存の薬物療法を適切に行ったうえでの追加または切り替えを行ったときの有効性の評価であり、最適な薬物療法を行うことの重要性をあらためて示しました。新しい心不全治療薬の選択肢が増え、その効果には期待が高まります。しかし、まずは、既存の心不全治療を適切に導入し、個々の症例に応じて最大量あるいは最大忍容量まで増量すること、すなわち基本的な薬物療法を適切に行うことの重要性を強調したいと思います。

本稿が、明日からの心不全診療の一助に、また現行の心不全治療を異なった視点から見ていただくきっかけになり、そして見直す機会にいただけたら幸いです。もし、心不全例の治療に際してお困りになったり、難渋されたりする際にはいつでもお気軽にご相談ください。

参考文献：2021年 JCS/JHFS ガイドライン フォーカスアップデート版 急性・慢性心不全診療

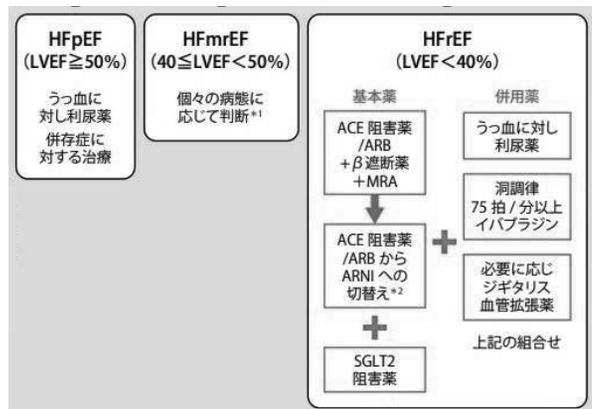


Figure. 心不全の薬物治療
2021年 JCS/JHFS ガイドライン フォーカスアップデート版
急性・慢性心不全診療より一部抜粋

宮大医学部学生のページ



研修医0年目の私たち

宮崎大学医学部 医学科5年 ^{かめ} ^{やま} ^{ゆう} ^り 亀 山 佑 理

「研修医0年目」

4週間の地域医療実習に取り組む中で、私は何度この言葉を自分に言い聞かせたでしょうか。

我らが宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座吉村教授の『むちゃぶり』は、宮崎大学医学部の学生はもちろんのこと、宮崎県内の病院にお勤めの先生方、ひょっとすると宮崎県内の病院に通院されている患者さん（恐らく宮崎市立田野病院に通われている患者さんは勤付かされているかと思われます）もご存じかもしれません。もともとグイグイと積極的に取り組むことがあまり得意ではない私にとって、この地域医療実習は正直に申し上げますと、最初は楽しみ半分、憂鬱さ半分といったところでした。なぜなら、人形やせいぜい友人相手にしかしたことの無い採血を患者さんにしろと言われてたり（もちろん実際に行う前には看護師さんにしっかりとご指導をいただいています）、初診の患者さんの問診をとれと言われてたり、ある時は患者さんのおうちまで病院からそのまま患者さんと一緒にタクシーに乗ってついて行き、お庭で育った野菜の収穫のお手伝いをして帰りは歩いて帰ってこいと言われてたり、とにかく吉村先生の『むちゃぶり』が炸裂するからです。初め

て患者さんに対して採血をする際に「リラックスしてくださいね」と患者さんに言った時の私の顔のこわばりようは、ご想像にお任せします。とにかく、何をすることも生まれて初めてのことで、毎日が緊張の連続でした。

しかし、そんな不安な気持ちとは裏腹に私の中に眠っていた「今やらなくてどうする？ いつやるか？ 今でしょ！」という感情が目を覚ましたのも事実です。というのも、このような経験はどこに行ってもできるというものではないからです。誰にだって『初めて』はあります。ましてや、患者さんのおうちにお邪魔して、一緒に野菜を収穫するという経験は初めてどころか『最初で最後』かもしれません。今、宮崎県で地域医療実習を行っている宮崎大学医学部の学生という立場だからこそできるのです。他大学に行った友人に聞いても、このような実習を経験したという話は聞いたことがありません。

吉村教授は、たびたび私たち実習生に「君たちは『研修医0年目』だ」という言葉を投げかけてくださいます。そこには、地域で医療者を育てる取組みの先駆者である吉村教授の熱い思いが込められていると思います。吉村教授はよくこうもおっしゃいます。「君たちはまだ現場

を知らないだけで、機会さえあればすごく伸びる。大きい組織ではなかなか実際の患者さんと接する機会は作れない。地域の医療機関だからこそ学べるものがたくさんあるのだ。」と。たしかに、ホームである大学病院を離れて地域の病院で実際に患者さんを目の前にすると、感じる責任はますます高まります。病気を治すということだけでなく、この患者さんはどんな場所で誰と暮らし、どのような生活を送っているのだろうか、今どんなことに困っているのだろうか、そのようなことにまで考えが及ぶようになります。これぞ地域医療の醍醐味なのではないでしょうか。地域医療には、患者さんの病気を治すこと、それだけではなく、患者さんの生活を守ることも求められているように思います。

当初は地域医療に対して少なからずネガティブな印象を持っていた私が、たった4週間でこうも変わることができたのは、この地域医療実習に実習先として協力してくださり、『むちゃぶり』の機会を私たちに与えてくださった宮崎県の数多くの病院の先生方、長い年月をかけて患者さんとの間に築いた厚い信頼関係の中で、学生がたくさんの経験をするができるようにと取り計らってくださった吉村教授、そして

何よりもまだ学生であると知りながらも快く私たちを受け入れてくださった患者さんのご協力があったからこそだと思っています。「誰にだって初めてはあるのだから。ゆっくりやっついよ。」「将来のお医者さんだからね。いくらだって協力するよ。」患者さんがかけてくださった、これらの温かいお言葉に何度助けられたことでしょうか。

私たちは研修医0年目。まだまだこれから学ばなくてはいけないことが山のようにあります。そして医師になった後も、学び続けなくてはいけないと思います。患者さんのためと思ってやったことがなかなかうまく患者さんに伝わらないこともあるでしょう。一生懸命治療を行っているのに思ったように効果が出ないこともあるでしょう。そうしてつまづいた時に、私はきっとこの4週間を自分の原点として思い出したいと思います。

最後になりましたが、このたびの地域医療実習を支えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。この経験を糧にこれからも勉学に励んでいく所存ですので、皆様どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



【夢をつなぐ東大宮居場所づくり】に参加 その1



【夢をつなぐ東大宮居場所づくり】に参加 その2

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
12月13日	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスワクチン接種業務に従事する医療職の被扶養者の収入確認の特例の延長について 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その85）」の送付について 「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正について 予防接種法施行規則の一部を改正する省令の公布について 宮崎県コロナワクチン副反応相談センターの運用変更について B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入退院及び航空機内における濃厚接触者並びに公表等の取扱いについて
12月14日	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の検査に係る保険収載価格の見直しについて
12月17日	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（疑義応答集の修正） コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン（SARS-CoV-2）に係る「使用上の注意」の改訂について 「日本地域包括ケア学会 第3回大会」の開催について 新型コロナウイルス感染症対策 医療機関向けガイドラインの改訂について 医療用医薬品の供給不足に係る対応について 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの供給について 令和3年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の実施に当たっての取扱いについて並びにQ&A（第10版及び第11版）について B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入退院及び航空機内における濃厚接触者並びに公表等の取扱いについて 電子帳簿保存法の改正について（情報提供） 材料価格基準の一部改正等について 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」の一部訂正について 「使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について」の一部訂正について 新型コロナウイルス感染症にかかる検査料の点数の取扱いについて 検査料の点数の取扱いについて
12月21日	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護学校協議会「教務主任養成講習会」のご案内 年末年始（12/28～1/4）における副作用等報告、不具合等報告及び予防接種後副反応疑い報告に係る受付並びに取扱い等について

送付日	文 書 名
12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療用物資の備蓄体制の強化について」に係る医療用物資の対応について ・PCR等検査無料化事業の周知依頼について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項に基づく届出の徹底について ・武田／モデルナ社ワクチンの追加接種に係る接種後の健康状況に関する調査について ・初回接種完了から8か月以上の経過を待たずに新型コロナワクチンの追加接種を実施する場合の考え方について ・新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の体制確保について（その3） ・抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給等について ・B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入退院及び航空機内における濃厚接触者並びに公表等の取扱いについて ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（6版）
12月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について ・令和3年度地域医療介護総合確保基金（介護分）の内示（2回目）について ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮して通いの場等の取組を実施するための留意事項について（その2） ・オミクロン株の感染流行に備えた検査・保健・医療提供体制の点検・強化の考え方について ・新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）等に使用するファイザー社ワクチン及び武田／モデルナ社ワクチンの配分等について（その2） ・マイナンバーカードの取得及び健康保険証利用申込の促進並びに業界団体・個社の取組の好事例の情報提供について（依頼） ・B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入退院及び航空機内における濃厚接触者並びに公表等の取扱いについて ・第26回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について ・国民生活センター「医師からの事故情報受付窓口」の周知について ・新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）の円滑な実施に向けたワクチン接種記録システム（VRS）への接種記録入力 of 徹底について ・高齢者施設におけるワクチン接種歴等を踏まえた面会に係る事例集について ・介護事業者のための業務継続計画（BCP）作成セミナーの開催について（周知依頼） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（6.0版） ・日本医師会新型コロナワクチン速報【第15号】 ・日本医師会新型コロナワクチン速報【第16号】
12月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（疑義応答集の修正） ・「精神保健指定医の新規申請等に係る事務取扱要領の制定について」等の一部改正について

送付日	文 書 名
12月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療介護提供体制改革推進交付金，地域医療対策支援臨時特例交付金及び地域介護対策支援臨時特例交付金の運営について」の一部改正について（「地域医療介護総合確保基金管理運営要領」の一部改正） ・難病患者等に関する避難支援等体制の整備について ・令和3年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）に関するQ & A（第12版）及び病床確保料による処遇改善について ・日本医師会オンラインセミナー「続けよう！感染防止対策 コロナ禍の健康課題」動画配信のお知らせ ・「かかりつけ医のための適正処方の手引き」の送付について（その5） ・「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスの一部改正案」に関する意見募集について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その86）」の送付について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その87）」の送付について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その88）」の送付について
1月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・カルバマゼピン製剤及びバルプロ酸ナトリウム製剤が安定供給されるまでの対応への協力依頼について ・「住宅と健康に関するオンライン学習会開催のご案内（令和3年度国土交通省事業）」 ・電動モルセレータに係る「使用上の注意」の改訂について ・「使用上の注意」の改訂について ・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について ・令和4年度税制改正について ・助産に係る資産の譲渡等に係る消費税の非課税措置の再周知について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について（通知） ・後期高齢者医療広域連合及び市町村が実施する「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に係る協力依頼について ・「介護職員処遇改善支援補助金」について ・高齢者施設等の入所者及び従事者，通所サービス事業所の利用者及び従事者への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種（追加接種）について ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬の医療機関及び薬局への配分について ・類鼻疽に関する周知啓発について ・新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目接種）体制整備に係る医療用物資の配布について」の一部改正について ・B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入退院及び航空機内における濃厚接触者並びに公表等の取扱いについて ・「医療用物資の備蓄体制の強化について」に係る医療用物資の追加配布について

送付日	文 書 名
1月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・「平日夜間・土日もどうぞ！労働相談会」実施に係る周知について（依頼） ・母子健康手帳の任意記載事項様式について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について ・新病院への移転に伴う救急受入について ・集団指導におけるeラーニングの試行運用について ・医療機器のサイバーセキュリティの確保及び徹底に係る手引書について ・厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会におけるキャッチアップ接種に関する議論について ・B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入退院及び航空機内における濃厚接触者並びに公表等の取扱いについて ・第15回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム「ここまでわかった，人と動物における新型コロナウイルス感染症－コロナ禍におけるペットとの付き合い方－」の開催について ・令和3年度衛生環境研究所研究発表会の開催について（通知） ・ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種を進めるに当たっての相談支援体制・医療体制等の維持，確保について ・B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入退院及び航空機内における濃厚接触者並びに公表等の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の追加・修正） ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第6.1版」の周知について
1月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金の申請期限について（再周知） ・新型コロナウイルス感染症の感染急拡大が確認された場合の対応について ・「「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインについて」の一部改正について」の一部訂正等について ・中和抗体薬の承認条件変更について


 あとかき


広報委員の卒業まで約2か月となってしまいました
が、最後まで精一杯頑張ろうと思いますので、なにと
ぞよろしく願いいたします。

先日南太平洋の島国トンガでの海底火山大噴火で日
本にも津波が到達しました。テレビをつけると全チャ
ンネルが津波警報についてで、東日本大震災を思い出

すような夜でした。当時私は東京の中学校にいましたので、津波の被害はありませんでしたが、地震による交通網の混乱で帰宅できず学校に泊まることになりました。今宮崎で一人暮らしをしており、もし夜中に大きな地震や津波が来たらと思うととても怖くなりましたし、日頃から災害に備えて準備する必要があるなとあらためて感じました。ここでは私が東日本大震災を経験してから毎日欠かさず持ち歩いているものを紹介します。私は視力がとても悪く、普段はコンタクトレンズを付けているのですが、どこへ行くにも必ず替えのコンタクトレンズと眼鏡を持ち歩いています。震災で学校に泊まる時につけたまま寝れない、見えなくなるから外せないという人がたくさんいたので気をつけるようにしています。もう一つはポータブル充電器、コード、コンセントプラグです。スマホがあれば家族や友達と連絡が取れます。それでも充電がないとどうしようもありません。私は震災当日割と早い時間に充電0%になりましたので絶対にいつでも充電できるセットを持ち歩くようにしています。みなさまに参考にさせていただけたら幸いです。

(木村)

* * * * *

オミクロン株が猛威を振るっています。宮崎にも
また蔓延が出てしまいました。いつ終わりますか？
と患者さんに聞かれますが、答えるすべもありません。
旅行やイベント、会食も強く制限され、大人も
子どもも社会もコロナ禍で喪失した物は甚大です。
感染力は強いが病原性はさほどでもない、つまりウ
イルスが自分の勢力を拡大するには最適な形であり、
もはや白旗をあげて共存させていただきしか
ないのでしょうか？

(稲倉)

* * *

世界のCOVID-19の感染状況や死亡者数をすぐに把握
できる、“Our World in Data”というサイトをご存
じでしょうか。1月22日の時点で、各主要国はピー
クアウトを迎え、日本のピークアウトも見えてきま
した。本誌が発刊される頃には終息を迎え、新型コ
ロナウイルスも5類感染症に改正されていることを
期待しております。

(植田)

* * *

1/21(金)にコロナワクチン3回目接種を終えまし
た。接種後の発熱、全身倦怠感が回数を重ねるたび
に酷くなっていきます。次は勘弁してもらいたいの
です。

1/23(日)に当番医が終わってから宮崎市市長選の投
票に行ってまいりました。天候も悪く、また若い方
は選挙に行かないので投票率を心配していましたが、
結果として結構な差をつけて清山知憲先生が当
選されました。コロナ禍の収束が見えない中、医師
である市長の誕生で宮崎市も新しく良い方向へ変わ
っていくことを期待いたします

(菊池)

「魔女の一撃」なんともふさわしい表現です。1
月の連休の中日に、いわゆるぎっくり腰を初めて経
験しました。早朝に重いものを持ち上げたのが悪か
ったようです。間の悪いことに翌日が休日当番でし
たが、極力動かないで診察できるようスタッフが気
配りをしてくれたおかげで、なんとか一日務めるこ
とができました。その後3日ほどでかなり改善して
きましたが、最近の運動不足の影響も大きかったか
と反省しました。今年一年は健康に留意しようと、
気を引き締め直しています。

(長井)

* * *

年明けからの臨床実習では、早くも3つの科を回
らせていただきました。まだ1か月も経っていない
のかと驚くほど、充実した実習生活を過ごしていま
す。特に指導医の先生のご指導のもと、初めて担当
させていただいた外来診察が特に印象に残りました。
オスキーで習ったはずの間診や身体診察も、実
際の患者さんを目の前にして実践するのはこんなに
難しいのかと、これから自分が辿る道の長さを痛感
することとなりました。とはいえ、千里の道も一歩
から。これからの実習でも、変わらず目の前の一瞬
一瞬に全力を注いでいきたいと思います。

(平井)

* * *

来年度の診療報酬はわずかですが0.43%のプラス
改定になるようです。この30年間をみると診療報酬
は、名目上は確かに微増していますが、職員の昇
給、器材の値上がりを考慮すると実質的にはマイナ
スでしょう。国民の実質賃金が減少しているのと同
じ構図です。今後もこの傾向は続きそうですから、
古きよき時代の経営であれば見直す必要がありそ
うです。

(佐々木)

今月のトピックス

メディアの目 県民の生命を守る「医療」「健康」報道とは

テレビ宮崎（UMK）の報道部部長の井上豊さんによると、昨年のUMKのローカルニュースでは、「医療」「健康」の話題は、それぞれ320件、137件とかなり重要なテーマとして取り上げられているということです。メディアとしても、このテーマを発信し続けることは、県民の健康意識の向上につながればという想いも伝わってきます。コロナ禍で、少しでも皆さんが元気になれる話題をこれからも期待しています。

18ページ

診療メモ 知っておきたい、新しい心不全治療薬

わが国の疾患別死亡率をみてみますと、悪性新生物で亡くなる方が一番多く、心疾患はそれに次いで多いのですが、がんは肺がん、胃がん、乳がんなど、すべての臓器がんを合わせた数字ですから、心臓は単一の臓器では、もっとも死亡率が高いと言えます。しかも心不全では、一番重篤な患者さん（NYHA分類 IV度）では、1年で50～60%が亡くなることから、重篤な心不全の予後は、がんと同程度、あるいは一般的ながんより予後が悪いと言えます。しかし、近年、新しい心不全治療薬が登場しており、非常に有用な薬剤として、一般診療レベルでも利用できるものがあります。宮崎市郡医師会病院 循環器内科の小岩屋宏先生に、分かりやすく説明していただきました。

60ページ

宮大医学部学生のページ 研修医0年目の私たち

地域医療実習に取り組む宮崎大学医学部医学科5年生の亀山佑理さんは、患者さんの問診、採血はもちろんですが、患者さんの自宅まで付き添い、野菜の収穫まで手伝うという実習内容に驚きを感じつつも、地域の医療機関だからこそ得られる醍醐味を感じているようです。将来医師として、病気だけではなく、人を診る診療につながる大きな礎になることを願っています。

62ページ

日 州 医 事 第870号(令和4年2月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔、植田 雄一、高橋 典子、菊池 英維、
石田 康行、長井 慎成

学 生 委 員 横山慎太郎、木村 桃子、平井 昂也、安藤菜々子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、高木 純一、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介、牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)